2018
vol.171

駒澤大学教育後援会

会報

特集

■【サークル紹介】
狂言研究会／吹奏楽部
■大学院（歴史学専攻）特集
■定期総会報告

新入生特別企画「新入生スケッチブック」
一泊参禅研修会 参加者募集

駒澤大学教育後援会
会報
2018
vol.171

CONTENTS

吹奏楽部[7、8ページ]

狂言研究会[5、6ページ]

サークル紹介は、
5～8ページをご
参照ください。

《巻頭挨拶》
駒澤大学 学長　長谷部　八朗……3
教育後援会 会長　平島　章……4

特集①　サークル紹介……5～8
狂言研究会
会長 渡邊　光一郎／会計 近藤　志保／小浜　郁登……5
[取材を終えて　教育後援会文化部取材班]
吹奏楽部
主将 小島　樹／副将 岡部　加奈／学生指揮 江嵜　達也……7
[取材を終えて　教育後援会文化部取材班]

■特別企画■
吹奏楽部スプリングコンサート2018 in 松本……9

■学内イベントピックアップ■
スプリングフェスティバルに参加して
軽音楽部ジャズ研究会 部長 成瀬　凛太郎……11／陶芸倶楽部 副部長 宝田　智典……12

■新入生特別企画■
新入生スケッチブック……13

特集②　大学院紹介　人文科学研究科「歴史学専攻」……17～25
[大学院歴史学専攻紹介] 人文科学研究科歴史学専攻主任・教授 小泉　雅弘……17
[大学院史学会について] 博士後期課程2年 小林　慧……18
[学生生活について] 修士課程2年 小笠原　理帆……19
[社会で活躍する修了生たち]……20／[歴史学専攻の主な就職先]……23
[大学院施設および設備]……24／[修士課程・博士後期課程の目的]……25

■お知らせ■　駒澤会・同窓会からのご案内……26

大学院人文科学研究科歴史学専攻の特集は、17~25ページをご参照ください。

駒澤大学教育後援会とは…

教育後援会は駒澤大学・大学院に在学する学生の保護者を会員として構成されています。

大学と家庭との連絡を図り、教育効果の向上に協力すると共に、会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的としております。

表紙の写真
（メイン：狂言研究会）

狂言研究会に関しては5、6ページをご参照ください。

特集③　気になる就職活動……27～30

キャリアセンターからの現状説明　キャリアセンター　塩田　弘樹……27

就職活動体験記　経済学部経済学科卒業　矢崎　優日香／法学部法律学科卒業　木野　嘉彦……29

キャリア・就職支援スケジュール……30

◆教育後援会だより◆

教育後援会の活動紹介……31

◆教育後援会執行部・監査／大学役職者紹介◆

平成30年度教育後援会執行部・監査紹介…33／駒澤大学役職者紹介…34

特集④　定期総会……35～38

［教育後援会定期総会報告］教育後援会総務部　部長　平田　信平……35

平成30年度教育後援会委員名簿　及び　教育後援会組織図……36

平成29年度教育後援会収支決算書・積立金明細書…37／平成30年度教育後援会予算書・特別会計予算書…38

◆駒澤大学教育後援会　規程◆

駒澤大学教育後援会会則……39

ホームページのご案内……40

■特別企画　地方で活躍する駒大OB・OG　～特別編　東京～■

文学部地理学科卒業　髙山　重人……41

◆大学だより◆

平成30年度後期学費等納入のお知らせ　財務部／卒業アルバムのご案内　学生部学生係……43

奨学金について　学生部厚生課……44

◆教育後援会だより◆

一泊参禅研修会　募集要項／一泊参禅研修会のご案内　教育後援会厚生部　部長　吉野　正人……45

第46回会員研修会「一泊参禅研修会」（於：總持寺）参加申込書…46／会員アンケート用紙…48

「父母寄稿欄」への投稿をお待ちしております／オータムフェスティバルのお知らせ／編集後記…50

5月12日(土)、教育後援会定期総会が開催されました。
詳細は、35～38ページをご参照ください。

［本文中の表記について］
※GMS 学部GM 学科：
グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科

大学教育の本質と駒澤大学の目指す教育

駒澤大学 学長
教育後援会名誉顧問
長谷部　八朗

昨年度の学長就任以来、私は、「学生ファースト」の考え方を軸とする大学運営を目指してまいりました。

もとより大学の果たすべき役割は、社会に資する有為な「人才（じんざい）」を育成し、世に送り出すことにあるわけですが、時代の移り変わりとともに大学を取りまく状況も大きく変化しました。

進学率が低く、大学が知の継承と発展を担う少数エリートを養成する段階では、最新の研究成果を教授することが教育の最大の目的であり、その意味で、教育は研究を発展せしめる上での基礎をなしていました。

やがて高度経済成長期が訪れ、多くの経済的中間層の子女が大学への進学を目指す段階に至って、大学教育は、さまざまな分野で社会を背負う人びとに広く知識と技能を付与する方向へとシフトします。しかし、学生数の増加に対応するため、大教室でマイクを用いた一方向的講義が、効率的な授業形態として一般化していきました。

時を経て、少子化時代が到来し、大学の教育、運営は新たな局面を迎えました。かつてのマスプロ教育に代わり、個人を大切にする少人数教育が求められています。

文部科学省は、学生一人ひとりの知力・能力の育成、ひいてはその生産能力の向上を目指し、高大接続、教育の質保証、地域社会貢献、産官学連携、グローバル化対応等についての指導を、国公立大学、私立大学を問わず、積極的に展開しています。

以上のような、大学を取りまく社会的状況・要請を、本学も、真摯に受け止めねばなりません。その際まずは、私立大学としての建学の理念を基本に据えることが肝要です。本学の場合は、仏教の教えと曹洞宗立宗の精神が、それに該当します。こうした理念の上に立つ本学での学園生活を通して、学生の皆さんが、多様な情報に惑わされることなく冷静に我が身を見つめ、当面する状況と向き合い、適切に対応し得る「柔軟な心」を習得するよう念願しています。

本学では現在、文部科学省の助成金を獲得し、全学をあげて「禅とこころ」研究の学際的国際的研究のブランド化事業を進めています。私は、時代が大学に求めるものが変わっても、私立大学の矜持として、建学の理念に基づく大学の特色を維持し、伝えていくことを忘れてはならないと考えています。

教育後援会の皆様には、本学の理念と特色をご理解いただき、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

来年 60 周年を迎えるに当たり、次の飛躍の1年間としましょう！

駒澤大学教育後援会会長
平島　章

平成30年度の会長に就任いたしました平島章でございます。

１年生の保護者の皆様、ご子息・ご息女の入学おめでとうございます。教育後援会として、心からお祝い申し上げます。

当教育後援会は、昭和34年に父母の会として発足し、来年で60周年を迎えます。

駒澤大学、大学院に在籍しておられる学生のご父母、保護者の方約１万5,000人の方を会員とし、この間、大学と協力しながら学生のために様々な支援を実施し、教育の向上に貢献して参りました。

・給付型奨学金
・100円朝食
・大学からの要望に基づく各種備品寄贈
・最近では130周年記念棟（種月館）の大食堂を中心とする建設費の寄付
・就職活動に対する各種就職情報の機材提供
・駅伝等に代表される学生の大会、発表会の応援
・正門、野尻寮に対する提言

等は現在の代表的な活動ですが、更に会員相互の親睦と知見を深めるため、一泊参禅研修会（永平寺、總持寺）、新年賀詞交歓会等も実施しております。

組織としては、執行部、監査、総務部、厚生部、文化部、と地方５支部（鳥取、三重、福岡、熊本、長野）があり、各々協力しあって業務を遂行しております。

本年は60周年を迎える前年であり、今までの各活動を今一度分析し、更に実効ある内容にするにはどうしたら良いか？もっと学生のためになる活動はないだろうか？等を考え、また60周年記念事業の骨格を作り、新たな飛躍の基礎固めをしっかりと実施して参りたいと考えています。

「種月館」は学生たちにすっかり気に入られ、また駒澤大学の発展のシンボルとして輝いております。大学と同様われわれ教育後援会も、更なる飛躍・発展のために努力をして参ります。

皆様方のご支援、ご協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。

かつてない経験

会長　法学部政治学科３年
渡邊　光一郎

狂言研究会（通称 狂研）は他の大学ではあまり類を見ない、能楽サークルです。能楽のうち、狂言を専門にしています。普段、狂言に触れるには、狂言の舞台を鑑賞しに行くか、実際に弟子入りするなどするほかありません。しかしながら、狂研は大学生活の中で狂言を実際に演じてみたり鑑賞したりと、体験する機会が増えていく為、いつの間にか見聞を広められます。実際に入会してみて、様々な出会いができ、感謝しております。

狂言から得たこと

会計　仏教学部仏教学科３年
近藤　志保

私は練習を始めてまだ数か月ですが、狂言研究会では立ち方や扇子の持ち方、発声など、基本的な所作を教えていただきました。そのため、普段の生活で狂言を鑑賞する際、今までとは別の視点からも楽しめるようになったことが一番嬉しいです。足の動きや手の動き、位置や速さなど、これからも様々なことを学びながら活動を楽しみたいです。

気軽に始められる伝統芸能

文学部国文学科２年
小浜　郁登

僕はこの研究会に所属するまで、狂言のことを全く知りませんでした。でも、この研究会に入った人の大半は狂言についてよく知らない状態で入部していると思います。また、練習もプロの狂言師の方にみていただけるので、未経験者でも簡単に始められます。ここまで手軽に始められる伝統芸能は他にないと思います。

取材を終えて

教育後援会文化部取材班

なかなかふれる機会のない伝統芸能「狂言」が今年のスプリングフェスティバルで発表されました。初舞台という学生の方々の初々しくも素晴らしい演目でした。善竹大二郎さんの解説により、ストーリーを理解してみることができましたので、面白さがわかった気がします。また、狂言での立ち方や発声なども体験させていただき、その難しさや大変さを実感することができました。

舞台発表の後にお話を伺いましたが、創部以来16年間も部員が絶えることはなかったとのこと。それは無理のないサークル活動を続けてこられたからではないかと思います。今後もオータムフェスティバルなどにぜひ参加してサークルが盛り上がるとよいですね。

特集①
サークル紹介

狂言研究会

Circle Pick Up

大蔵流 狂言師 善竹大二郎先生（本学OB）

サークル情報

●創立年　2002年
●会員数　計３人（男２人／女１人）
●顧　問　近衛　典子 教授（文学部）

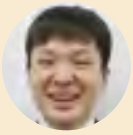
狂言研究会とは

私たち狂言研究会（通称 狂研）は、全３人で活動を行っています（２～３年生：３人）。日本の伝統芸能であり、ユネスコ世界無形遺産にも登録された狂言を、少数精鋭で稽古に邁進しております。稽古日は会員の自主性を尊重し、会員の希望に合わせて稽古することが可能です。昨年のオータムフェスティバルでは、多くの観客に足を運んでいただき、かつてない貴重な経験を積めました。今年のオータムフェスティバルにも出演できますよう、より一層努力して参ります。大学生活で何か特別なことをしたい方や、狂言の稽古を受けたい方、鑑賞だけでもしたい方、狂言研究会に少しでも興味があれば、是非とも見学にお越しください。会員一同、心よりお待ちしております。

狂言研究会　年間活動予定

5月	新歓
7月	狂言鑑賞会
11月	発表会
1月	新年会
3月	追いコン

駒澤大学吹奏楽部



主将　経営学部市場戦略学科４年
小島　樹

私たちは少人数ではありますが、他団体に負けない熱い情熱と音楽が純粋に好きな気持ちで日頃の練習から取り組んでいます。

一つひとつの本番を全力で行うことで、私たちの音楽を通して日頃支えてくださっている方に恩返しがしたいと思い、本年のモットーを「音返し」と掲げました。

皆様の期待にそえるように努力を重ねて参ります。今後もどうぞ宜しくお願い致します。

駒澤大学吹奏楽部です！

副将　法学部法律学科フレックスＡ４年
岡部　加奈

こんにちは！吹奏楽部です。私たちは「常に誠実でつつましくそして情熱をもって」という代々受け継がれる部訓と本年のモットーである「音返し」を胸に日々活動しております。コンクールや定期演奏会などの自主活動から、企業からの依頼演奏なども積極的に行い、部員全員が音楽を通じて人間的に大きく成長できる部です。是非一度演奏会に足を運んでいただきたいです。お待ちしています。

吹奏楽部を通じて

学生指揮　経済学部経済学科４年
江嵜　達也

駒澤大学吹奏楽部は、歴史ある部活です。吹奏楽が好きで集まった部員のほか、他の大学や高校、それに多くのOB、OGの方などと交流し、音楽を通じて様々な人と繋がりを持てることが大きな魅力だと思います。演奏会などの本番に向けて練習や取り組みをする中で、改めて人との関わりが大切なものだと感じさせてくれる部活だと思い活動しています。

取材を終えて

教育後援会文化部取材班

5/12のスプリングフェスティバルの演奏は、5/3の松本市音楽文化ホールの会場より小さいこともあって、より迫力がありました。また、楽器を持って客席を歩いている姿が間近で見ることができました。

今回の取材を通じて、楽器が好き、吹奏楽部が好き、仲間が好きという思いがひしひしと伝わり、こういう思いが音にも表れているのではと思いました。

年間活動の主軸が、サマーコンサート、吹奏楽コンクール、定期演奏会の三本柱の他に、都内外での依頼演奏を数多くこなし、他では決して経験のできない充実した学生生活を送っていることが良くわかりました。これからも、数多くの演奏を通じて、学内や学外（地域）のファンの方に感動を与えてくださることを願っております。

※吹奏楽部のコンサート（松本）の様子は９、10 ページをご覧ください。

特集①
サークル紹介

吹奏楽部

Circle Pick Up

サークル情報

- 創立年　1962年
- 部員数　計34人（男12人／女22人）
- 部　長　深見　泰孝 准教授（経済学部）
- 活動場所　玉川キャンパス403教場

吹奏楽部HP

吹奏楽部とは

吹奏楽部は1962年に創部され、2012年には創部50周年を迎えました。創部以来「常に誠実で つつましく そして情熱をもって」という部訓を掲げ、自己の人間性や社会性を高めるとともに、心が伝わる音楽を目指し日々活動しております。

例年６月に行われるサマーコンサートと12月に行われる定期演奏会の二つの演奏会を軸に、依頼演奏や訪問演奏などではマーチングバンドとしても積極的に幅広い活動を行っております。

全日本吹奏楽コンクールにおいては通算22回出場し、うち20回金賞を受賞しております。日本各地で演奏会を行っており、私たちの演奏を聴いてくださった方からの「感動した、元気をもらった、また聴きにいきたい！」の声をいただくときが何よりも嬉しいです。

楽器経験者の方も、未経験の方もどなたでも大歓迎です。私たちと一緒に吹奏楽部で音楽を楽しみましょう！

吹奏楽部　年間活動予定

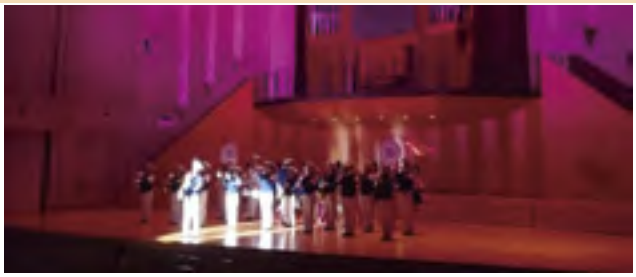
５月	長野県長野市善光寺でのパレード
６月	サマーコンサート
８月	吹奏楽コンクール
12月	定期演奏会
３月	スプリングコンサート

5月3日（木）松本市音楽文化ホールにおいて、
「駒澤大学吹奏楽部 スプリングコンサート2018 in 松本」が開催されました。

第２部は駒澤大学吹奏楽部のステージマーチングショウ。白と青の鮮やかなコントラストのコスチュームをまとった面々がステージ場に現れました。当部のマーチングは、演奏しながら縦横に移動するだけにとどまらず、「カレッジスタイル」という、足を高く上げる歩き方や激しい振付など独自のスタイルで行っています。楽器を演奏しながら動く大迫力の「メンツ」と、旗でバンドに華を添える可憐な「カラーガード」で構成され、情熱と躍動感あふれる重厚なサウンドが持ち味となっています。華々しいファンファーレで始まり、ディズニーの名曲や往年の映画音楽に乗せてキレのある演技を披露しました。大迫力のステージに、興奮冷めやらぬ会場からの大声援と拍手に応え、アンコールとして駒澤大学吹奏楽部のマーチングの十八番「Vehicle!（ビークル）」でさらに会場を沸かせました。

駒澤大学吹奏楽部では、高校吹奏楽部との合同演奏会の機会を大切にしています。それは音楽的な技術の面で相互に刺激となるとともに、大学でも吹奏楽を続ける姿を通して、「音楽」を一生の友にすることの素晴らしさを少しでも伝えることができればと考えるからです。今回、合同演奏を行った２つの高校から、来年、駒澤大学に入学し、当部に入部してくれる方がいればこんなに嬉しいことはありません。このような貴重な場を用意してくださった駒澤大学教育後援会の皆様に深く感謝致します。

駒澤大学吹奏楽部　副部長　高井要



文化部委員より

５月３日、快晴の松本市音楽文化ホールにて

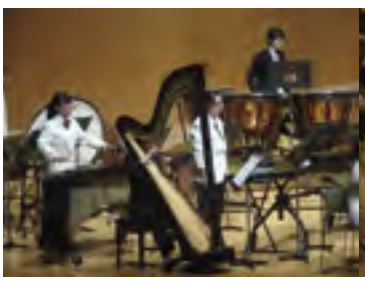
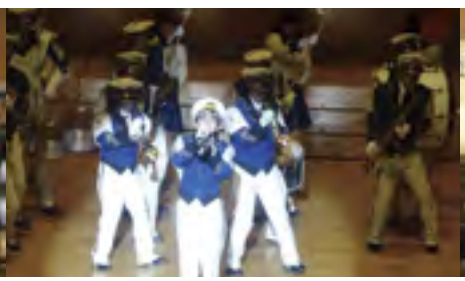
地元の高校２校との合同演奏ということもあり、開場前から行列ができていました。吹奏楽部は今年は人数が少ないですが、個々の技術レベルが高いので、余裕ある大人の演奏という印象でした。

高校生の若さ弾ける曲と、３校合同では難しい曲も、前日に合わせただけとは思えない素晴らしい演奏でした。

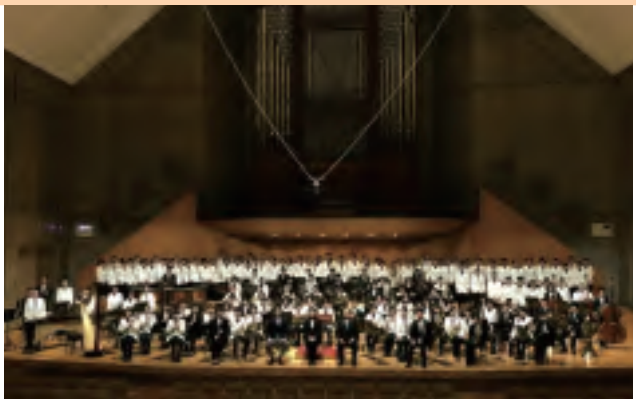
最後は駒大吹奏楽部の代名詞、コスチュームに着替え、ステップや動きながら演奏する、カレッジスタイルの「マーチングショウ」は日々の練習の賜物。伝統のスーザ回しも健在で、圧巻の一言に尽きました。

例年より練習日程や部費等の軽減対策を図っているとか。興味のある学生の皆さん、一度足を運んでみませんか？

教育後援会文化部
坂井　由美子

駒澤大学吹奏楽部 スプリングコンサート2018 in松本



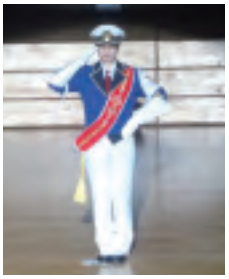
平成30年５月３日（木）、新緑の長野県松本市に駒澤サウンドが響き渡りました。

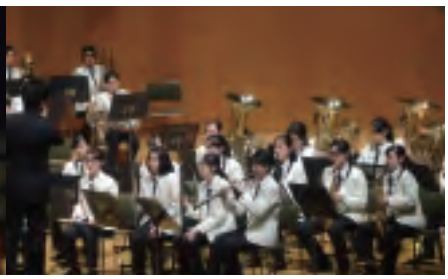
今回、松本市音楽文化ホールにおきまして「駒澤大学教育後援会特別公演」として「駒澤大学吹奏楽部 スプリングコンサート2018 in松本」を開催いたしました。当日は教育後援会会員の皆様、本学同窓生の方々、そして長野県にお住まいの皆様にたくさん足をお運びいただきました。

第１部オリジナルステージ、第２部ステージマーチングショウの２部構成のコンサート。駒澤大学教育後援会の正田賢司会長による開会の挨拶で第１部の幕が上がり、当部の演奏に加え、ゲスト団体として地元の長野県松本蟻ケ崎高等学校吹奏楽部、長野県豊科高等学校吹奏楽部による演奏、そして３校による合同演奏というボリューム満点のプログラムが始まりました。

駒澤大学吹奏楽部の単独ステージでは、行進曲として有名なC.タイケの『旧友』、そして映画「魔女の宅急便」の各シーンで流れる名曲をメドレーにした『魔女の宅急便コレクション』を演奏しました。その後、各高等学校吹奏楽部の単独ステージが続きます。長野県松本蟻ケ崎高等学校吹奏楽部は、当部もレパートリーとしているA.リードの作品の中から『春の猟犬』などを演奏しました。長野県豊科高等学校吹奏楽部は、吹奏楽界において名作と言われる『ディスコキッド』などを披露しました。この『ディスコキッド』は1977年の全日本吹奏楽コンクールの課題曲で、その年、当部もこの曲を演奏し全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞したという思い入れのある曲です。各校の粋な選曲に部員一同、胸が熱くなりました。

そして大学・高校総勢80人以上のメンバーでの３校合同ステージ。１曲目には本年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲『虹色の未来へ』を演奏しました。３校ともこの夏に吹奏楽コンクールに出場しますが、曲名のとおり、素晴らしい未来を期待させる演奏となりました。第１部のトリは、当部音楽監督の稲川榮一氏の指揮でA.リードの『エル・カミーノ・レアル』。スペイン語で「王の道」を意味するこの曲は、曲調が「急・緩・急」のつくりで、フラメンコを彷彿とさせるスペイン東北部に伝わる舞曲「ホタ」、スペイン南部の舞曲「ファンダンゴ」など、華やかさと哀愁を合わせ持つ不朽の名曲で、難曲としても有名です。３校合同の練習は前日、当日と限られた時間ではありましたが、それを感じさせない奏者一体となった圧巻の熱演に、会場からは大きな拍手が巻き起こり、第１部を終えました。

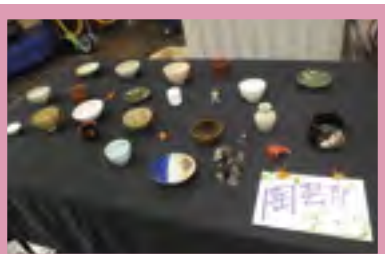
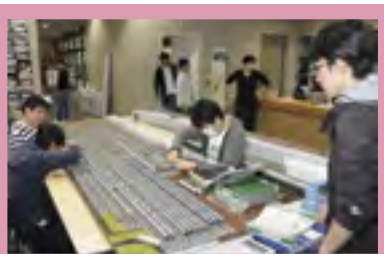


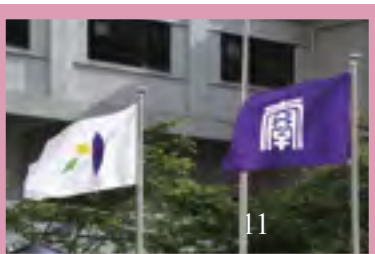


「ジャズの素晴らしさを伝えたい」

軽音楽部ジャズ研究会部長
グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科３年
成瀬　凛太郎

私たち軽音楽部ジャズ研究会は、玉川キャンパスにて週２日、ジャズセッションを部員たちで行いジャズの理解を深めるとともに演奏技術の向上に互いに切磋琢磨していく部活です。駒澤大学といえば体育会系の部活が有名で、文化部もそれらを応援する吹奏楽部や応援部が有名かと思います。スプリングフェスティバルのような舞台は私たちのような普段学内の人の目に触れる機会が希薄な部活にとってとても喜ばしい機会でありました。ジャズというジャンルを簡単に説明いたしますと、所謂スタンダードと呼ばれる有名曲を主に演奏するのですが、その一番の醍醐味はその曲中に一人ひとりが演奏する「即興演奏」にあります。数ある音楽ジャンルの中でも自由にアドリブで演奏するパートがあり、かつその時間も自由であることから一般にジャズが自由の音楽とされる所以だと考えます。即興で演奏するということはその演奏者の個性が前面に現れるので、このスプリングフェスティバルでも聞いていてくれた人たちに私たち一人ひとりの個性や熱量が伝わってくれたらと思います。部員の多くは吹奏楽部やビッグバンド、軽音楽部経験者が多いですが、部長である私は高校まで体育会系で音楽自体大学に入ってから始めました。それでも部員のみんなとセッションするのはとても楽しいですし、だれでも練習すれば初対面の人とも一緒に楽器演奏が楽しめることがジャズの素晴らしいことだと思います。私たちジャズ研究会は全員で約40人で構成されており近年では精力的に外へと働きかける活動をして他大学との交流も活発になりつつあります。４年間という短い期間ではありますが、少しでもジャズという音楽を理解、上達しようと日々練習に励んでおりますので、変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。最後になりましたが、スプリングフェスティバルの出演にあたって、お世話になりました学生部、企画研究会、電気美術研究部の皆様、並びに教育後援会の方々に重ねて感謝申し上げます。



学内イベントピックアップ

スプリングフェスティバルに参加して

教育後援会では、定期総会当日の5月12日（土） 正午から、日ごろの学生たちのサークル活動の成果をご父母にも見ていただこうと、「駒澤大学スプリングフェスティバル　サークル発表会」を開催しました。ここに参加学生お２人から、感想をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

「陶芸を身近に感じていただく機会」

陶芸倶楽部副部長
仏教学部仏教学科３年
宝田　智典

私たち陶芸倶楽部は40年以上続く本学公認サークルで、現在は玉川校舎の部室を中心に部員30人程度で活動をしています。毎年スプリングフェスティバルに参加させていただいており、今年度も１ケ月ほど前から準備を進めてきました。展示では平皿や湯飲み、ティーカップといった実用的なものからオブジェや茶器に至るまで、部員が実際に制作・使用している品まで多岐にわたります。体験ではより身近に陶芸を感じていただく・自分の手による作品で愛着を持っていただける、といった内容をコンセプトとして盛り込みました。昨年は当日天候に恵まれず、暗鬱とした雲に覆われた中での開催でしたが、今年は夏を思わせるような晴天で、来場者の皆さんの顔もいくばくか晴れやかであったように感じられました。

今回参加させていただきましたスプリングフェスティバルは文字通り「春の祭典」ですが、「秋の祭典」であるオータムフェスティバルでは部員の制作した作品の中から販売も実施しており、毎年ご好評いただいております。展示作品・販売作品ともに部員がひとつひとつ、丹精込めて成型から焼成までを行っており、そんな作品を末永く愛着を持って経年や使いこむことでの変化をお楽しみいただければと思います。

本イベントの良い所はオータムフェスティバルと比べて来場者の方と直接お話できる時間がより多く取れる点であると思います。スプリングフェスティバルに来場してくださった保護者の皆様や関係者の方が、普段使用される陶器や食器、こんなものがあったらいいな、などという部分を会話の中から分析し、より使いやすく愛着ある作品づくりを目指すという点で、毎年の作品作りへ非常に大きな意味をもたらしています。本年度は夏祭りなど、多くの校内イベントに参加を予定しております。皆様にはより学校活動やサークル活動への理解を深めていただき、より多くの方のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

新入生スケッチブック
―ひとことメッセージ―

2018年度の新入生の方から、大学生活の抱負やメッセージなど、それぞれの思いをお寄せいただきました。

GMS学部GM学科

GMS学部GM学科

GMS学部GM学科

GMS学部GM学科

医療健康科学部診療放射線技術科学科

新入生特別企画

医療健康科学部診療放射線技術科学科

医療健康科学部診療放射線技術科学科（左）／
経済学部現代応用経済学科 (右)

経営学部経営学科

経営学部経営学科

仏教学部

経済学部商学科

仏教学部

経済学部経済学科

文学部英米文学科

文学部社会学科

文学部心理学科

文学部歴史学科

文学部社会学科

法学部法律学科

法学部政治学科

特集2

大学院紹介
人文科学研究科「歴史学専攻」

駒澤大学大学院には、人文科学、経済学、商学、法学、経営学、医療健康科学、グローバル・メディアの７研究科14専攻に加え、法曹養成研究科（法科大学院）が開設されています（2018年４月現在）。高度で専門的な研究活動を行うことのできる力を養成し、各業界の幅広い方面で活躍する人材を輩出している駒澤大学大学院の中から、今回は、人文科学研究科歴史学専攻をご紹介いたします。

歴史学専攻について

人文科学研究科
歴史学専攻主任
教授　小泉　雅弘

大学院歴史学専攻は、日本史学・東洋史学・西洋史学・考古学の各コースがあり、専任教員が十四人、非常勤講師は十七人です。修士課程では、学部までの教育を基礎として専門的な研究能力を身につけ、研究・教育その他の多方面の分野での職業的能力を有する人材の養成を目的としています。授業は、上智大学・明治大学・立教大学など十一大学との単位互換制度を導入しており、日本史学コースでは、国文学研究資料館が開催する史料管理学研修会の長期研修課程（アーカイブズ・カレッジ）を履修することができます。そして、修士課程修了後には、さらに高度な研究能力を修得するために博士後期課程へ進学し、博士（歴史学）号の学位取得を目指す院生もいます。

現在、在籍する大学院生は修士課程が二十八人、博士後期課程が四人で、院生が自主的に運営する大学院史学会（院生会）に所属しています。この史学会は、研究成果を発表する場として毎年大会を開催し、研究論文掲載のために会誌（年一冊）を作成しています。昨年度は第45回大会を開催しており、今年5月に『史学論集』第48号を発行しました。大会の回数と会誌の号数をみれば、歴史学専攻の伝統と人材を育成してきた歴史がわかるでしょう。

本学には大学院史学会とは別に、教員・卒業生を中心とする駒沢史学会があり、年一回の大会と年間二冊の『駒沢史学』を刊行しています。駒沢史学会は、日本学術会議協力学術研究団体・日本歴史学協会加盟団体であるため他大学出身の会員も多くおりますが、大学院生にとっては、研究発表や論文掲載のための環境が整っているといえます。このように、院生に多くの研究発表の機会を提供し、優れた研究成果を挙げてもらうことも、私たち教員の役割であると考えています。

大学院では、教員の「専修免許状」が取得できるため、教員志望の学生には有益でしょう。修了生たちは、専門性を生かした教員・学芸員はもちろん、国家・地方公務員や一般企業に就職し、実社会で活躍しています。各教員は、これら修了生と現役大学院生との間にあってネットワークを形成し、就職のための後押しもしています。

大学院史学会について

大学院史学会会長
人文科学研究科歴史学専攻
西洋史学コース　博士後期課程2年
小林　慧

駒澤大学大学院史学会は、歴史学専攻（日本史学・東洋史学・西洋史学・考古学の各コース）修士課程・博士後期課程の院生によって構成され、積極的に活動を行っています。史学会の主な活動内容として、新入生歓迎会・納会、6月頃に行われる駒沢史学会大会の運営補助、また11月頃に院生会のメンバーが行う駒澤大学大学院史学大会、年度末からは『史学論集』の制作があります。

昨年の史学大会では、明治大学教授の石川日出志先生に記念講演を行っていただきました。各コースの院生が研究成果を発表する場であり、毎年多くの学部生や大学院ＯＢ・ＯＧの先輩方、あるいは学外からの参加者により、活発な討議が行われています。このように、院生会が独自に大会を開催している大学は、他にはありません。

『史学論集』は今年で第48号となり、多くの院生が自身の論文や研究ノート、書評などを投稿しています。

駒澤大学大学院深沢校舎には、各コースの研究室があり、自分の机で研究を進めることができるようになっています。また院生会内の活動として、互いの研究を知り深め合うために毎月例会を開き研究発表をしています。院生会の活動に関しての会議を開くときや例会も、深沢校舎で行っています。

大学院生の学生生活について

人文科学研究科歴史学専攻
考古学コース
修士課程２年
小笠原　理帆

私は、学部生時代に考古学の魅力に触れ、まだ研究を続けたいという思いから大学院に進学しました。大学院は、学部と違い卒業に必要な単位が少なく、講義は一週間のうち3日ほどに収まっていました。しかし、講義一つひとつに自主性が求められ、内容も学生どうし、そして先生を介した研究に対する議論が中心となります。そのため、空き時間のほとんどは充実した講義を行うための準備や、自分の研究に使っています。

講義のない日には、自治体でアルバイトとして働き、文化財保護に必要な技術や経験を身につけています。また、学会や勉強会に参加して他の大学院生と交流することで考古学に関する様々な情報や意見を交換し、研究について多くの刺激を受けています。さらに長野県の歴史的建造物調査などに参加し、学外での活動は考古学分野にかぎらず、様々な経験ができています。

現在、私は埋蔵文化財に携わる職業につくことをめざし、公務員試験の勉強とともに研究を進めています。今後も、大学院生活で培った研究への取り組み方や多くの経験を通して、先人たちの積み上げてきた歴史を後世に残していくために自分には何ができるのかを考え続けていきたいと思います。

1年次の時間割（例）

	月	火	水	木	金	土
1限				東洋史特講Ⅲ	教育委員会での埋蔵文化財に関するアルバイト	中国考古学会に参加
2限	図書館および大学院研究室で発表準備	考古学特講Ⅱ				
3限		博物館実習TAの打ちあわせ		考古学特講Ⅵ		
4限		博物館実習(学内)TA	考古学特講Ⅳ	考古学演習Ⅰ		
5限		考古学特講Ⅰ	考古学特講Ⅴ			
6限				考古学特講Ⅶ		

社会で活躍する修了生たち

ここでは、各界で活躍している大学院歴史学専攻の修了生五人の方をご紹介します。

中村　陽平
【埼玉県教育局 埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸員】
人文科学研究科歴史学専攻
博士後期課程日本史学コース
単位取得退学（2011年3月）

現在私は、埼玉県に採用され、学芸員として「埼玉県立歴史と民俗の博物館」に奉職しています。博物館では、主に常設展示室の管理・運営ならびに、特別展示の企画・立案などの業務を担っています。

講座風景

私が大学院に進学したのは平成18年（2006）。この年は大学院に進学する同期生も多く、各自が研究に勤しみつつ、互いに切磋琢磨しあいました。大学では日本近世史を学び、研究の傍ら古文書調査に力を入れました。実際に地域に入り、古文書の調査方法から地域の方々との付き合い方、さらには自治体史の編纂など数多くのことをここから学びました。また、学外の研究会などに参加しネットワークを広げることができたことが今の私のベースとなっています。

埼玉県立歴史と民俗の博物館

さて学芸員として重要なことは、大学院などで学んだ専門性である点は言を俟ちません。しかし近年、学芸員の現場では専門性以外の様々な能力、ゼネラルな力が求められています。

大学院での研究活動、同期生や学外の方々とのネットワークは、自身の研究を深めるとともに活動の幅を広げ現在の仕事に繋がっています。在学中に様々な経験を積み重ね自身の幅を広げることが、社会に出てから生きた力になると感じています。

長谷川　貴志
【独立行政法人国立公文書館　総務課企画法規係長】
人文科学研究科歴史学専攻
博士後期課程日本史学コース
単位取得退学（2016年3月）

現在、私は独立行政法人国立公文書館で勤務しています。当館は、皇居に面した北の丸公園内に位置しており、日本国憲法や平成（元号）の書などの歴史資料として重要な公文書を国の行政機関などから受入れ、大切に保存し、後世に受け継ぐことを主な役割としています。また、近年当館では、公文書等の管理に携わる専門家（アーキビスト）の養成に取り組むほか、数年後には国会前に新たな国立公文書館の建設を予定しており、私もこうした仕事の一端を担っています。

大学院在学中、私は日本近現代史、とりわけ戦後外交史を主な研究分野としていました。研

究に関係する資料があれば国内外問わず調査へ出掛け、毎日のように公文書や私文書などを読み進めていました。私にとって膨大な資料と向き合えたことは、まさに資料の海を渡る歓びでもありました。それだけ資料には途轍もない魅力があります。ただ、そう感じられるようになったのはごく最近で、実際は自分の考えていたことと異なる内容が資料に書かれていたり、数多ある資料をうまく読みこなせなかったりと、資料の海の中で溺れそうになることが多くありました。そんな時、私に手を差しのべてくれたのが大学院でご指導くださった先生方であり、また、ともに学んだ学友たちでした。

当館では約１４５万冊の資料を所蔵していま

す。到底すべての資料を読むことはできませんが、今後も資料の海を渡る歓びを感じながら、職責を全うしたいと思います。

粕谷　良介
【千葉県立幕張総合高等学校　教諭】
人文科学研究科歴史学専攻修士課程東洋史学コース修了（2008年3月）

私は現在、母校である千葉県立幕張総合高校で、社会科の教員・ワンダーフォーゲル部顧問として勤務しています。大学院を修了したのは２００８年。その後、3年間の講師経験を経て、２０１１年に正採用となりました。

教職を志す者にとって、修士課程で学ぶ第一の利点は、教員免許が「専修免許」に書き換わること。しかし、それ以上に重要なのは、教科に関する高度な専門性が養えることです。教科書記述の背景にある歴史研究の進展を捉えたり、記述の根拠となる史料を批判的に読み解いたりする能力は、学部の４年間だけでは、身に付けることが難しいものです。

東洋史学コースの第1期生だった私には、同期の院生は1人しかおらず、ゼミや特講の授業は、ほぼマンツーマン。指導教員の中村先生をはじめ、駒大の先生方はもちろんのこと、単位

互換や研究会などを通じて、上智大学や早稲田大学、財団法人東洋文庫の先生方に手厚くご指導いただいた日々が、教員として働く今の私の土台となっています。

柿本　なみ（旧姓三好）
【総務省政策統括官企画管理官室高度利用担当】
人文科学研究科歴史学専攻修士課程西洋史学コース修了（2013年3月）

大学院を修了して5年になります。現在は、総務省にて「統計」の仕事をしています。皆さんは、我が国の統計がどのように作成されているか、知っていますか。我が国の統計は、複数の行政機関がそれぞれの行政分野について、分散して統計を作成しています。この分散型の統計は、特定の機関がまとめて統計を作成する諸外国の統計に比べて、行政ニーズに的確、迅速に対応することができますが、統計調査の重複や調査の抜け落ちを招きやすいというデメリットがあります。この問題を解決すべく、私の所属している総務省政策統括官室は、我が国全体の統計整備計画の企画・立案等を行っています。

統計は「現在をうつす鏡」といわれ、行政施策の企画・立案・評価のための基礎的情報を提供しています。私はこの日本の基軸となる統計の仕組みを考え、より国民にとって統計を身近で使いやすいものに変えていける今の仕事にとてもやりがいを感じています。様々なジャンルに対して数多くの知識を要求されるため大変な時もありますが、大学院時代に養った多角的に物事を見る力、自分で決めたことをやり抜く力を生かし、これからも、より良い統計行政のために尽力していきたいと考えています。

水野　華菜
【株式会社六一書房出版部】
人文科学研究科歴史学専攻
修士課程考古学コース修了
（2015年3月）

私が所属する出版部の業務は、簡単に言えば「本を作って売る」ことです。主に研究者の方が読まれる学術書をメインに出版しています。入社4年目になり、編集を担当させていただいた書籍は20冊近くなりました。以下では、「本作り」に関して、大学院で学んだことがどのように活かされているかをお話ししたいと思います。

もともと興味の幅が狭いことが私のウィークポイントだったのですが、大学院では、「多角的に学ぶ姿勢」の大切さを学ぶことができました。これが現在の仕事では、一つの原稿に対して多方面から客観視することや、著者のご研究に非常に興味をもてることにつながっています。

多方面から客観視する例として、原稿中に海外のとある土地の「海の色」の記述があった際、（実際に行くことができないので）写真を拝見するほか、海流を調べたり、海水中のプランクトンの量を調べたりして事実確認をし、著者への質問を行ったこともありました。

こうした事実確認や質問出しの工程は力量が問われる部分です。的外れの質問をしてしまい著者に叱られることもしばしばあり、まだまだ勉強不足で未熟なことを思い知らされる毎日です。しかしながら、こうした経験も踏まえて様々なことへ興味をもつかぎり、成長できると感じています。大学院で学んだ「多角的に学ぶ姿勢」は、私にとって、成長への道筋なのだと思います。

歴史学専攻　主な就職先（過去５年間）

国税庁、福島県庁、沖縄県埋蔵文化財センター、埼玉県立文書館、群馬県・栃木県・東京都私立高校教員、東京都立高校教員、東京都中学校教員、学芸員（相撲博物館、調布市武者小路実篤記念館、青森県七戸町、成田市、香取市、宮代町歴史民俗資料館）、教育委員会（北見市、宇都宮市、三郷市、須坂市、西宮市）、青山学院大学大学史編纂委員会、駒澤大学・専門学校事務職員、旅行会社、その他一般企業

（紹介した修了生を除く）

大学院施設および設備

深沢キャンパス（深沢校舎）

深沢校舎（外観）
院生研究室や大学院講義室等の施設が設置されています。

講義室・演習室
深沢校舎３階・４階

大学院の少人数教育に適した講義室や演習室を設けています。

大学院学生研究室（院生研究室）
深沢校舎３階・４階・５階・６階

各専攻ごとに学生共同研究室を設けています。
研究活動を支援するため、各学生に机・椅子・ロッカー等を貸与しています。
また、LAN環境が整備されており、個人所有のパソコンの持ち込みが可能になっています。
医療健康科学研究科及び、グローバル・メディア研究科の院生研究室は駒沢キャンパス内にあります。

この他、資料室や各階のコピー室（一定額のコピー費補助制度あり）等、大学院学生の研究活動を支える諸施設が設置されています。

修士課程の目的

修士課程においては、広い視野に立って精深な学識を授け、専門分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度な能力を養うものとする。

修士課程

1年次

- 4月 ・入学式
- 10月 ・研究計画書提出
- 2月 ・成績発表

開講科目受講

2年次

- 6月 ・修士論文論題提出
- 6月 ・修士論文中間発表会
- 1月 ・修士論文提出
- 2月 ・論文審査（口頭試問）
- 2月 ・成績発表
- 3月 ・修了式＝修士号取得

開講科目受講

博士後期課程の目的

博士後期課程においては、専門分野について、研究者として自立して活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

博士後期課程

1年次

- 4月 ・入学式
- 5月 ・研究計画書提出
- 1月 ・研究報告書提出
- 2月 ・成績発表

開講科目受講

2年次

- 5月 ・研究計画書提出
- 1月 ・研究報告書提出
- 2月 ・成績発表

開講科目受講

3年次

- 5月 ・研究計画書提出
- 6月 ・博士論文論題提出
- 6月 ・研究計画書提出
- 10月 ・博士論文提出
- 1月 ・研究報告書提出
- 1月 ・最終試験
- 2月 ・成績発表
- 3月 ・修了式＝博士号取得

開講科目受講

駒澤大学外郭団体

「駒澤会・同窓会」紹介

より充実した KOMAZAWA ライフを 支えるために

各会報誌のご紹介

駒澤大学には、学生や大学を支える3つの団体があります。1つは、この会報を発行している教育後援会、2つ目に駒澤会、そして3つ目に同窓会があります。

駒澤会は、駒澤大学卒業生のご父母による組織です。言わば皆様方、教育後援会経験者のお力で設立し、活動を継続しているのです。年間を通じ「初夏の親睦会」や「秋の研修会」、「新年賀詞交歓会」など様々な行事で会員同士の親睦を深めています。また、年に2回「駒澤会だより」を発行し、新規会員の紹介や各種行事の報告をしています。教育後援会会員を終え、ご子息ご息女が卒業された後に、駒澤会に入会していただき、同じ志のもとで在校生を支え（駒澤会奨学金）、交流を深めていきたいと思います。皆様の入会を心よりお待ちしています。

同窓会は、会員数二十四万人を越え、日本全国に58の支部と台湾に1つの支部があり、各地で支部総会や各種行事を行い、同窓生同士の絆を深めています。大学の近況や同窓生の活躍などをまとめた「同窓会だより」を年に1回発行しています。毎年11月には、〝母校〟にお越しいただくイベント「ホームカミングデー」も実施しています。また、在校生への奨学金を給付しています。

次回掲載号では、今年度前期の活動報告や会員の皆さまの〝声〟を紹介いたします。

教育振興部

駒澤会奨学金　授与式の様子

駒澤会新年賀詞交歓会

卒業式での会員勧誘活動

特集③

気になる就職活動

キャリアセンター
塩田　弘樹

どのような状況下でも、就職活動にスムーズに取り組むためには、早い時期から将来を見据えた事前準備が、ますます重要になってきています。ここでは、お子様が慌てず冷静に就職活動に取り組めるよう、キャリアセンターの職員にアドバイスを寄せてもらいました。お子様の有意義な学生生活と就職活動の両立に向けて、ぜひご参照ください。

キャリアセンターからの現状説明

学生がいまどのような状況なのか、就職活動の現在とキャリアセンターの支援についてお話しさせていただきます。

〈現状の就活スケジュールや実情〉

まずは、経団連が発表する就職活動のスケジュールについてです。2019卒に関しては、3年連続でスケジュールに変更はありませんでした。3年生6月にインターンシップが始まり、3年生3月に採用に関する情報解禁、4年生6月から面接選考、10月1日以降内定出し、となっています。このスケジュールの中で、インターンシップについては大きな変更がありました。経団連の指針でインターンシップは、5日間以上とされていましたが、2019卒からは最低日数要件を削除する、つまり1日でも良いということになりました。

また、2020卒に関しても3月下旬の発表で、現行を維持することとなり4年連続でスケジュール変更はありませんでした。

〈就職活動における問題〉

次に、インターンシップについてお話します。最低日数要件の削除により、多くの企業が日数に縛りを受けずに早期から学生と接触ができることとなりました。これにより、1dayインターンシップが横行しました。本来、職業体験であるインターンシップが会社説明会となり、参加者に早期選考面談という名の面接を行い解禁前の学生を囲い込む企業も少なくありません。学生にとっては、解禁前に内定をもらえるためメリットに感じるかもしれませんが、内定が早期にでることで入社後にミスマッチが起こる危険性があります。しかし、早期に様々な業界、企業に触れられるこの機会は非常に有益です。インターンシップで自分の可能性を閉ざすのではなく、広げて3月解禁に向けた準備をしていただければと思います。

〈学年ごとに見る就活〉

それでは学年ごとに、学生がいまどういった状況で、何をしていかなければならないのかご説明いたします。

4年生　就職活動本番です。本誌発行である7月には第1クールが終了となる時期です。内定を得て就活を終える学生もいれば、内定を得ても自分が納得いくまで就活を続ける学生、内定を得ず再スタートをする学生、公務員・教員試験から民間に切り替える学生と3月解禁以降初めて大きな動きがある時期となります。

1dayインターンシップの横行により企業も人材確保に苦戦しています。9月以降にも学内には求人が例年2000社以上来ます。もし、この時期うまくいっていないお子様がいましたら一度キャリアセンターに相談に行くように促していただければと思います。これからの再スタートのために、自分の状況を客観的にとらえ対策をする良い機会です。

3年生 6月のインターンシップ解禁から1か月、夏休みに一番のピークを迎えます。

インターンシップでエントリーシートが課せられる企業もあるため、自己分析が必要となります。また、インターンシップは非常に倍率が高く、自分の望む企業に行けないことも少なくありません。自分の望む企業に行けなかったと、他企業のインターンシップに参加することなく夏休みを終える学生が毎年大勢います。夏休み以降もインターンシップは開催しておりますが、せっかくの夏休み、志望企業だけでなく、何をしているのか知らない企業、もっと知りたい企業に出会える機会を活用してください。

1・2年生 毎年多くの就活生の書類指導で、「学生時代に取り組んだことがありません」という言葉を聞きます。自己PR含めて採用面接では必ずと言っていいほど聞かれる項目です。学業に力を入れることはもちろんのこと、ゼミやサークル、アルバイトを通して、学生生活が充実した！と言えるものを経験してもらいたいと思います。

〈キャリアセンターで展開する支援〉

キャリアセンターとして、学生の可能性を広げるためにも低学年次より様々な支援プログラムを用意しております。学年ごとに分けて説明いたします。

4年生 3年生の3月から毎月、学内で合同企業説明会を開催します。本学学生の採用意欲の高い企業が参加します。5月頃より改めて企業の見方講座等、リスタートプログラムも開催しております。

3年生 各種資格講座に加え、6月にはキャリアセンター主催インターンシップの申込み（駒大生の枠を設けています）、自己分析やグループワーク・ディスカッションセミナーを5月下旬より始めています。夏休み明けには集中進路相談としてキャリアセンターから学生を面談に呼んでいます。ここで再度、就活についてキャリアセンターの利用の仕方について思い返してもらいます。

12月には、3月解禁に向けた業界研究として人気企業の人事担当者をお呼びします。

また、OB・OG懇談会の開催、7月末頃には4年生の内定者による懇談会の開催もしております。

1・2年生 入学時のオリエンテーションから、年6回程キャリア講座を開催し、低学年次から就職への意識を高めてもらいます。また、1・2年生限定インターンシップや公務員入門講座も行っています。

全学年 キャリアセンター職員による個別相談、3・4年生は書類指導や面接指導といった実践的な相談も予約なしで行っています。

元朝日新聞記者を担当講師に、論文や作文の文章講座も行っております。

こうしたプログラムをワンキャンパスで受けることができるのが、駒澤大学の最大の魅力です。

また、今年度よりWEB資格講座を開講しました。1年間1万円（税別）で25種類の資格講座を制限なくスマホからでも受講することができます。

最後に、学生には早期から就職活動を見据えて様々なプログラムに参加してほしいと思っておりますが、就職活動において最も重要であるのは学業・学生時代に何かに熱中し挑戦していくことです。4年間の学生生活をより充実させ自分の望む進路に進んでもらいたいと思います。そのお手伝いを、キャリアセンターでは全面的にバックアップしていきます。是非、お子様には一度キャリアセンターを訪れ自分のキャリアについて考える機会を持つようにお声掛けいただければと思います。

就職活動体験記

この春（2018年３月）ご卒業されたお２人に、就職活動を振り返っての感想とメッセージを、お寄せいただきました。

自分が本当に納得できるまで続けること

経済学部経済学科卒業　矢崎　優日香

私が就職活動をしたうえで一番大切だと感じたことです。

正直私の就職活動はスムーズにいったわけではありません。辛い時期を越えて結果的に7月の半ばまで続けていました。6月初めに多くの人が就活を終える中、私は第一志望に考えていた企業の最終面接に落ちたのです。一社行きたい企業を見つけてしまうとそこしか見られなくなってしまう私はどん底でした。ほかに内定をいただいていた企業はありましたが、心から行きたいと思える企業ではなく、やりたい仕事でもなかったのです。しかし周りが終わり始め、焦る気持ちからその企業を無理やり肯定的にとらえ、終わりにしてしまおうと考えていました。今思えば、これからの長い人生を捧げる会社を一時の辛さゆえに逃げてしまうなんて本当にもったいないことです。私は幸いにもキャリアセンターに通っていたので、今後の進め方や求人参考など沢山のアドバイスをいただき、6月半ばから就職活動を再スタートすることができました。

そこで私は現在の会社と出会い、今に至ります。心から入りたいと思う会社で、自身の想いを包み隠さず伝えた結果、内定をいただくことができました。苦労して納得のいくまで就職活動を続けたという誇りがあるからこそ、この会社で成果を出してやるという強い気持ちがあります。

これから就職活動をするみなさん、辛いことも多々あるかと思いますが絶対に妥協せず自分自身が納得のいくまで就職活動を続けてください。

沢山の経験が糧に

法学部法律学科卒業　木野　嘉彦

私にとっての就職活動は、自分と向き合う大切な時間の連続でした。着慣れないスーツに身を包み、沢山の企業やイベントを訪問していく中で、自分が本当にやりたいことを探し続ける日々だったと思います。

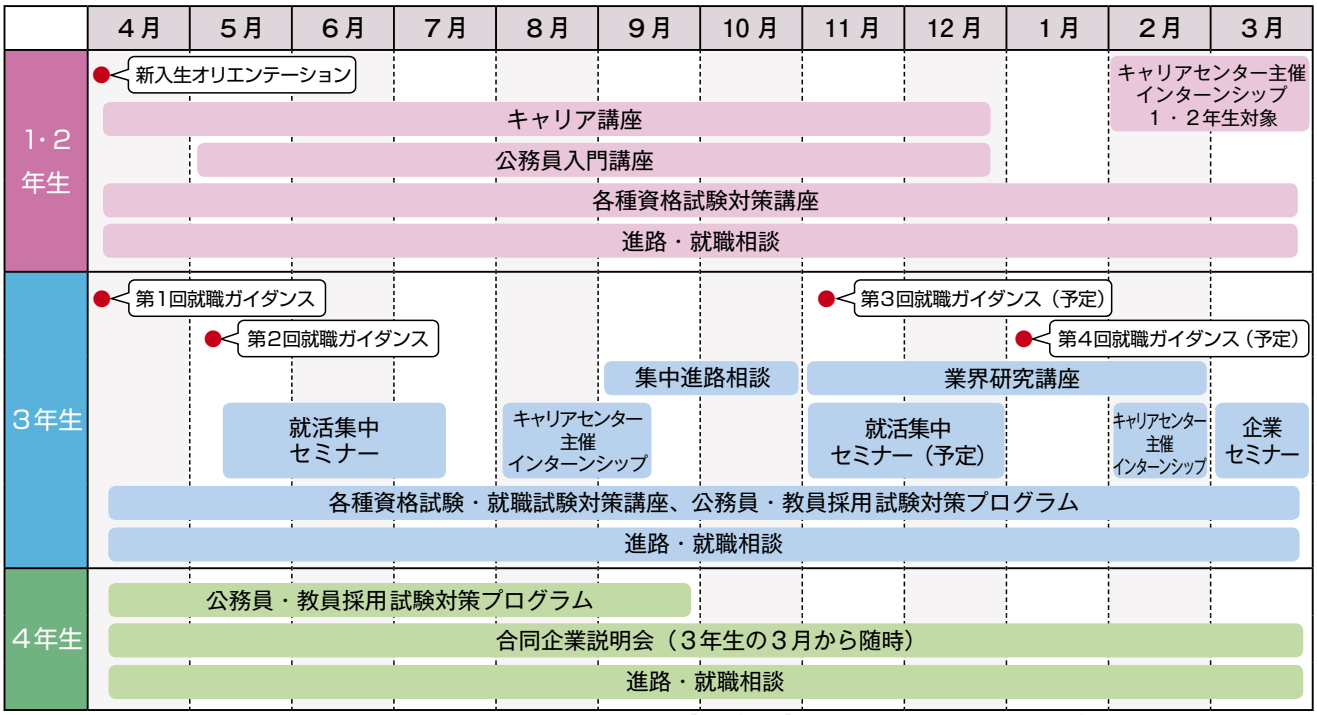
もともと私は営業職に興味があったので、職種に関しての悩みはそこまで大きくありませんでした。一方で業界を絞ったり、さらにその中でどのような企業に入るかを判断するのは非常に大変でした。そこで重視したのは、「とにかく多くのイベントに足を運んでみる」ということです。確かに今の時代は、インターネットを使えば多くの情報を得られるでしょう。しかしそれだけでは、実際の企業の姿は見えてこないと私は考えます。ですから、学内説明会をはじめ、各地で開催されている沢山のイベントに直接行ってみて、肌で企業を感じてみてください。きっと新たな視点を得られるはずです。そうした体験は説得力を持ちますので、面接などでも必ず役に立ちます。

また選考活動に当たっては、キャリアセンターを有効に活用して欲しいと思います。ＥＳの添削、面接練習はもちろんのこと、比較的新しい書籍が多く取り揃えられています。私もＷｅｂテストの勉強はキャリアセンターですることが多かったです。

最も大事だと感じたのは、支えてくれる多くの方々へ感謝の気持ちを持つことです。これさえあれば、辛いことがあっても前向きな気持ちになれると思います。

キャリアセンターでは、各年次向けの進路支援活動を行っています。１年生から４年生、また既卒者の相談にも応じ、就職のバックアップをしています。大学でのキャリア形成に役立つサポートを上手に活用することが、就職への近道です。ここでは、スケジュールをご覧になり、どのようにキャリアセンターと関わっていけばいいのか、各年次の目安としてください。多彩なサポートシステムを大いに利用しましょう！

キャリア・就職支援スケジュール



実施日時・教場などは「掲示」や「キャリアセンターのホームページ」でお知らせをしています。

◆ 事前申込要　◆ 事前申込不要　★ 受講料要　★ 受講料不要　■ 随時受付

各項目の解説				
	◆	★	新入生オリエンテーション	進路を考えるうえでこれからの学生生活がどのようにかかわっていくのかをお話しします。
	◆	★	キャリア講座	低学年次から自分の将来について意識してもらい、キャリア・進路を考えていく講座です。
	◆	★	インターンシップ	一般企業や自治体で就業体験することで、自分なりの職業観の形成に役立ちます。
	◆	★	３年生就職ガイダンス	就職への心構え、就職戦線の状況解説講演会、就職活動時のマナーなどのアドバイスなど。
	◆	★	就活集中セミナー	学外の就職コンサルタントが面接対策を中心に、「エントリーシートの書き方」「模擬面接」など実践的な就職活動の指導を行います。
	◆	★	合同企業説明会	１日数十社の小規模のものから１日 100 社を超える大規模なものまで開催し、企業が個別に採用の説明を行います。

就職・資格試験対策講座				
	◆	★	就職試験対策	公務員講座：専門学校（資格の大原）と提携し、充実したプログラムを用意。
	◆	★		教員採用試験対策学内講座：専門学校（東京アカデミー）と提携し、充実したプログラムを用意。
	■	★		文章（基礎力養成）講座：マスコミや広く一般の文章力を育成。
	◆	★		就職対策特別講座／マスコミ・エアライン講座：内定を獲得するための特訓プログラムです。
	◆	★		SPI 対策講座：SPI は多くの企業が入社試験に取り入れています。
	◆	★	資格試験対策	MOS 試験対策講座：MOS とは、Microsoft Office Specialist の略で、Word、Excel などのアプリケーションソフトを利用するスキルを高めます。
	◆	★		FP 技能士講座：FP（ファイナンシャルプランナー）技能士を目指す講座。金融をはじめ、税金・不動産・年金・保険など幅広い分野を学習。
	◆	★		WEB 資格講座：秘書検定・宅建士・簿記・TOEIC など学生に人気で仕事に役立つ 25 の WEB 資格講座が年間１万円（税別・テキスト代別）で受け放題。

オススメ情報			
駒澤大学に送られてきた求人票を見るためのサイト	**駒澤大学求人検索システム キャリナビ**	本学学生であれば学外からも閲覧可能です。[KONECO] からアクセスしてください。
本学 OB・OG が残してくれた就職活動の記録		企業ごとにいつ頃・どのような試験があったか、どのような対策を行って内定を勝ち得たか、生きた情報です。キャリアセンターの資料室とホームページから閲覧可。

広報活動

会報の発行

毎年7、11、3月の3回発行しています。

駒澤大学での学生生活、大学からの情報、教育後援会の活動報告を紹介します。

※大切な情報もありますので、ご住所変更された際は大学に住所変更をお届けください。

カレンダー、パンフレットの作成

カレンダーは教育後援会の行事予定の他に学生の行事、授業の予定も記載されています。

定期総会・教育懇談会の申込用紙とともに翌年度のカレンダーをお送りします。

ホームページ

教育後援会のホームページです。

教育後援会の活動の他に、サークル情報、学生生活の報告等随時更新中です。

支　援

奨学金制度

- 経済的理由、私費留学生、成績優秀者

家計急変学生に対する一時給付金の支給

保護者（保証人）が死亡等により家計が急変し、修学を続けることが困難になった学生を対象に月額5万円を6カ月支給しています。

助成金・祝賀金・褒賞金

学生のサークル活動の育成･支援のために助成金、祝賀金の支給。また、功労が認められた団体･個人に褒賞金の支給を行っています。

教育施設等充実助成支援（平成29年度）

- 駒澤大学教育後援会奨学基金
- 家計急変一時給付金
- スポーツ推薦入学試験適用サークル学外指導者への補助費
- 学生への食育支援事業（100 円朝食）
- 屑入れ新規購入事業（玉川・駒沢キャンパス）
- 「駒Dining」夜間営業による玉川キャンパス利用サークルへの食育支援事業
- 学位記ファイルの発注（購入補助）
- 学生貸出用PC の更新
- 「東洋経済『デジタルコンテンツ・ライブラリー』（大学向け）」支援事業

駒澤大学 教育後援会の活動紹介

駒澤大学・大学院に在籍する学生の保護者（保証人）の皆さまを会員として、昭和 34 年に設立された組織です。大学と家庭との連絡を図り、教育効果の向上に協力すると共に、会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的としております。

会員の皆さまの中から選出された委員が、様々な行事や広報の運営を行っております。

ここでは、教育後援会の活動を紹介いたします。

会員の皆さまが参加できる行事

定期総会・スプリングフェスティバル（サークル発表会）

５月第２土曜日

●**定期総会**…昨年度の活動等を会員の皆さまに報告します。

●**スプリングフェスティバル（サークル発表会）**…教育後援会主催、学生による学生のための企画研究イベント。各サークルが日頃の成果を皆さんに発表します。

教育懇談会

５月～７月

駒澤大学と共催で、全国各地の会場に大学担当者と教育後援会代表が伺います。

大学の近況をご報告するとともに、学業成績や就職等の諸問題を直接教職員にご相談していただける会です。毎年、好評を得ています。

新年賀詞交歓会

１月第２土曜日

毎年都内の会場で行われるこの会。美味しい料理を食べながら、教職員や同じ学部の保護者の方と交流できる機会です。サークルのアトラクション、クジ引き抽選会と楽しいイベントが盛りだくさんです。毎年11月号の会報で参加募集をしています。

一泊参禅研修会

秋に福井県の大本山永平寺、神奈川県の大本山總持寺において、隔年で毎年行っています。

普段の生活から離れ、曹洞宗の大本山で修行体験はいかがでしょうか？毎年７月号の会報で参加募集をしています。

サークル応援

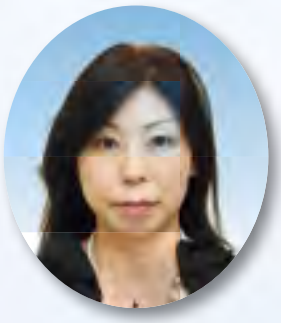
駒澤大学はサークルも頑張っています！皆さんで応援に行きましょう！

試合、発表会情報はホームページにて随時更新しております。

平成 30 年度教育後援会執行部・監査紹介

会長　平島　章

副会長　大山 真護



副会長　田中 弥生

副会長　細谷 牧子

副会長　酒井 一浩

監　査　大澤　孝

監　査　渡邉　靖

監　査　轟　勝之

顧　問　正田 賢司

顧　問　松田 素子

※特別顧問は除く

駒澤大学役職者紹介

学　長
教育後援会名誉顧問 長谷部 八朗

常勤監事 青山 伸一

総　長 池田 魯參

理事長 松原 道一

財務局長
教育後援会名誉顧問 徳本 克彦

総務局長
教育後援会名誉顧問 土合 一夫

副学長
教育後援会名誉顧問 猿山 義広

副学長
教育後援会名誉顧問 日笠 完治

仏教学部長 石井 公成

図書館長 伊藤 秀一

学生部長
教育後援会学内幹事 兼村 栄哲

教務部長
教育後援会学内幹事 中野 達哉

経営学部長 長　國強

法学部長 王　志安

経済学部長 代田　純

文学部長 橋詰 直道

法曹養成研究科長 松本 英俊

総合教育研究部長 小川　隆

グローバル・メディア・スタディーズ学部長 各務 洋子

医療健康科学部長 西尾 誠示

特集4

定期総会

教育後援会定期総会報告

教育後援会総務部部長
平田　信平

平成30年5月12日、平成30年度駒澤大学教育後援会定期総会が開催されました。昨年までは中央講堂でしたが、今回は130周年記念棟、種月館4階の種月ホールでの開催でした。当日は爽やかな晴天に恵まれ多くの父母の方々にご出席いただきました。

総務部長の平田の司会進行のもと、まず、正田賢司教育後援会会長が挨拶し、教育後援会の目的や主な活動内容が説明されました。

続いてご来賓を代表して、長谷部八朗駒澤大学学長からご挨拶をいただき、その中で、教育後援会から大学への支援活動に対しての感謝とともに、教育後援会の意義について述べられました。また、教育後援会とともに学生ファーストの理念に基づく教育を推し進めたい旨のご発言がありました。

この後、司会より教育後援会の全役員の紹介、続いて、渡辺巌学生部事務部長より大学当局、学部長ならびに学内幹事の先生方のご紹介をいただき、日笠完治副学長と猿山義広副学長から、大学の近況と学生支援制度の概要についてお話しいただきました。

ここから、会則に従い、議長は正田賢司会長、議事録署名人として山田晴美総務部副部長が選出され、審議事項へと移りました。

議題1「平成29年度事業報告ならびに決算報告の件」では、松田素子副会長より、スプリングフェスティバル、教育懇談会、駅伝の応援、永平寺での参禅研修会、新年賀詞交歓会などの年間行事についての実施報告、会報の発行、スポーツ強化助成、100円朝食や奨学金などの学生への経済的支援その他の活動の説明がありました。

議題2「平成29年度監査報告の件」では、大澤孝監査より、教育後援会の職務の執行および会計内容について、適正かつ正確に行われている旨の監査報告がなされました。両議案とも承認可決されました。

議題3「平成30年度事業計画案並びに予算案の件」では、平島章副会長より、基本的に例年どおりの活動を実施すること、および、来年度の教育後援会設立60周年記念事業に向けての特別会計予算書案についての説明がなされ、本議案は承認可決されました。

議題4「平成30年度会長、副会長、監査委員選出の件」では、正田賢司会長より平島章新会長をはじめとする新役員候補者名が読み上げられ、本議案は承認可決されました。

最後に議題5「駒澤大学教育後援会会則改正案の件」では、正田賢司会長より会則改正内容についての説明があり、承認可決されました。

この後、大山真護副会長より各支部長が紹介され、各支部長より支部の活動報告がありました。

ここで、審議事項および報告事項がすべて終了し、最後に恒例となりました前会長より新会長への「襷リレー」のセレモニーが行われ、平島新会長の挨拶を以て定期総会は閉会となりました。

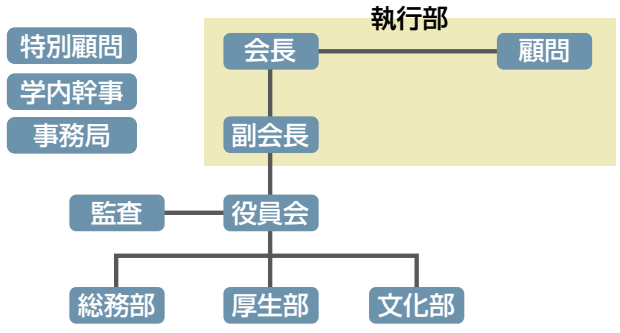
平成 30 年度　教育後援会委員名簿

執行部・監査								
役　職	氏　名	学　科	役　職	氏　名	学　科	役　職	氏　名	学　科
会　長	平島　　章	経済	副会長	酒井　一浩	政治	顧　問	正田　賢司	H30.3 卒
副会長	大山　真護	市場	監　査	大澤　　孝	地文	顧　問	松田　素子	H30.3 卒
副会長	田中　弥生	英米文	監　査	渡邉　　靖	市場	特別顧問	吉田　　稔	H29.3 卒
副会長	細谷　牧子	GM	監　査	轟　　勝之	現応経	特別顧問	齋藤　　誠	H29.3 卒

総務部			厚生部			文化部		
役　職	氏　名	学　科	役　職	氏　名	学　科	役　職	氏　名	学　科
部　長	平田　信平	経済	部　長	吉野　正人	経営	部　長	石川美乃利	経営
副部長	山田　晴美	商	副部長	仲田　　郁	英米文	副部長	柏木　祥吾	経営
副部長	田中　正人	商	副部長	新田　千晴	地環	副部長	星野　　篤	経営
委　員	石井　利英	市場	委　員	小網　裕二	経営	委　員	石川　　肇	経営
委　員	佐々木康人	商	委　員	小網素女子	経営	委　員	和泉澤貴子	現応経
委　員	髙橋　　悟	仏教	委　員	近藤　洋一	経済	委　員	和泉澤　隆	現応経
委　員	髙橋　利香	仏教	委　員	近藤　美里	経済	委　員	金子　勝巳	現応経
委　員	竹内　紀子	経営	委　員	平島　浩子	経済	委　員	金子　有加	現応経
委　員	外﨑　美穂	仏教	委　員	古城　佳則	社福	委　員	神田　裕司	法律
委　員	増田　明美	現応経	委　員	吉野　美香	経営	委　員	小杉　　護	経営
委　員	間瀬　恵子	歴考	委　員	山本　順子	現応経	委　員	梅木　桂子	GM
委　員	藤井　奈美	商	委　員	片口　和泉	経営	委　員	坂井　美輪	経済
委　員	麻生　美芽	商	委　員	寺尾　幸治	経営	委　員	荒　　祐子	法律
委　員	山本恵美子	国文	委　員	濱村　雄司	GM	委　員	石野多栄子	歴外
委　員	山本　隆司	国文	委　員	濱村　智子	GM	委　員	石野　洋吏	歴外
委　員	夏目　揚久	経済	委　員	内藤　美保	経営	委　員	星野　陽子	経営
委　員	伊藤　　豊	法律	委　員	佐藤　全代	経済	委　員	久保田　良	商
委　員	伊藤　一実	法律	委　員	小澤　妙子	現応経	委　員	坂井由美子	仏教
委　員	武井　由佳	仏教	委　員	米良　忠訓	国文	委　員	有田　正美	法律
委　員	咲間　　毅	市場	委　員	佐藤亜矢子	商	委　員	石井　晋一	社福
委　員	島田　教光	市場	委　員	福永　紀子	心理	委　員	内海　吉雄	仏教
委　員	大西　雅枝	政治	委　員	長谷部雅恵	商	委　員	小町　肇子	法律
委　員	高橋ゆり子	法律	委　員	今関　有里	文	委　員	髙橋　法子	経営
委　員	宮前　　忍	歴日	委　員	原田さゆり	法律	委　員	富山　好美	GM
委　員	伊東　愛恵	法律	委　員	三浦　文子	法律	委　員	古橋　明尊	GM
委　員	有馬　昌弘	国文	委　員	山崎　俊明	経営	委　員	粟國　洋行	法律
委　員	坂本　　淳	歴考	委　員	和田　典子	英米文	委　員	笠井　正幸	法律
委　員	佐藤　真二	法律				委　員	笠井喜代美	法律
委　員	佐藤三枝子	法律				委　員	風間　孝子	地環
委　員	中村　千代	仏教				委　員	藤居　美幸	歴外
委　員	三橋　　真	経済						
委　員	三橋　聡子	経済						
委　員	小林　正和	GM						
委　員	小山永久子	法律						
委　員	櫻井　由美	経済						
委　員	筒井　俊雄	法律						
委　員	筒井　睦海	法律						

※上記名簿は５月12日（土）定期総会時点のものです。

駒澤大学教育後援会組織図



■ 会長・副会長・監査・各部長・各副部長をもって役員会を構成する
■ 要望・提案等の処理
大学よりの要望等
　大学→執行部→役員会→委員総会
各部よりの提案・要望等
　各部長→執行部→役員会→委員総会

平成 29 年度　教育後援会収支決算書

自　平成 29 年 4 月 1 日　～　至　平成 30 年 3 月 31 日

収入の部　（単位　円）

項目	H29 予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (B-A)	摘要
前年度繰越金	33,298,614	33,298,614	0	
入会金	19,625,000	19,150,000	△ 475,000	@5,000 円× 3,830 名（入学者数） ※但し、入学辞退者等対象外となる人数も含む
会費	156,470,000	152,505,000	△ 3,965,000	@10,000 円× 15,251 名（学生数） ※但し、入学辞退や 9 月等対象外となる人数も含む
会合参加費	2,250,000	2,317,200	67,200	夏季委員研修会・委員研修会の参加費
雑収入	150,000	606,856	456,856	銀行利息（普通預金・定期預金）・その他
合計	211,793,614	207,877,670	△ 3,915,944	

支出の部　（単位　円）

	項目	H29 予算額 (A')	決算額 (B')	差異 (A'-B')	摘要
運営費	会議費	1,650,000	739,804	910,196	総会・役員会等諸経費
	消耗品費	180,000	46,868	133,132	事務用品・消耗品
	印刷製本費	900,000	237,030	662,970	定期総会資料等印刷費
	通信費	500,000	339,285	160,715	各種会議等案内状送料・切手等諸経費
	旅費交通費	2,400,000	1,402,260	997,740	支部長、副支部長の総会等出張費・委員の委員会等交通費
	運営渉外費	500,000	141,600	358,400	卒業アルバム等購入費
	ホームページ経費	3,000,000	2,919,102	80,898	ホームページ更新・管理料等諸経費
	運営雑費	3,260,000	1,332,358	1,927,642	応援のぼり・応援旗・撮影料等諸経費
	計	12,390,000	7,158,307	5,231,693	
一般事業費	研修費	11,800,000	10,137,885	1,662,115	会員研修会・新年賀詞交歓会等諸経費
	教育懇談会費	13,780,000	11,167,267	2,612,733	教育懇談会 印刷費、荷物等発送費、役員出張費、昼食費、現地経費など諸経費
	各部活動費	3,500,000	2,055,826	1,444,174	各部（執行・総務・厚生・文化）活動諸経費
	支部活動費	3,650,000	2,291,508	1,358,492	支部事務費及び運営補助費
	会報等発行費	15,970,000	15,186,885	783,115	会報及び卓上カレンダー作成等経費
	弔慰金	1,260,000	300,000	960,000	会員・学生・教職員弔慰金
	事業渉外費	5,300,000	3,990,386	1,309,614	サークル応援・各種学校関連行事への参加費等経費
	事業雑費	100,000	0	100,000	掲示物筆耕料・学生アルバイト料
	計	55,360,000	45,129,757	10,230,243	
特別事業費	学生指導費	1,300,000	1,096,092	203,908	卒業証書（学位記）ファイル購入経費
	課外活動学外指導者指導助成金	4,950,000	3,785,000	1,165,000	学外指導者への指導助成経費
	学生奨励費	6,750,000	2,400,300	4,349,700	学生団体及び個人への祝賀金・支援金
	家計急変学生一時給付金	5,000,000	800,000	4,200,000	家計急変学生一時給付金
	奨学給付金	26,000,000	26,200,000	△ 200,000	教育後援会奨学金（家計・成績・留学生）
	国際交流助成金	150,000	150,000	0	国際親善協会賛助金
	スポーツ強化助成金	9,000,000	8,200,000	800,000	スポーツ推薦サークルの強化助成
	文化振興助成金	1,000,000	0	1,000,000	文化・芸術・音楽系サークルの強化助成
	就職・キャリア支援助成金	1,600,000	1,108,080	491,920	就職ガイドブック、その他
	食育支援事業助成金	8,000,000	8,251,700	△ 251,700	100 円朝食助成、玉川キャンパス食育助成
	教育施設等充実助成金	9,000,000	7,403,324	1,596,676	ごみ入れ、屋外ベンチ等の助成
	大規模自然災害被災者見舞金	1,200,000	60,000	1,140,000	大規模自然災害の被災者見舞金
	計	73,950,000	59,454,496	14,495,504	
繰入金	奨学基金積立金			0	奨学基金のための積立金
	新規事業積立金	10,000,000	10,000,000	0	新規事業のための積立金
	キャンパス整備助成積立金	30,000,000	30,000,000	0	キャンパス整備助成のための積立金
	計	40,000,000	40,000,000	0	
予備費		30,093,614	0	30,093,614	予算が不足した場合は、予備費を使用する
合計		211,793,614	151,742,560	60,051,054	
次年度繰越金		0	56,135,110	△ 56,135,110	

積立金明細書（平成 29 年度）

平成 30 年 3 月 31 日現在

（1）普通預金　（単位　円）

銀行名	預金残高
三菱東京 UFJ 銀行　世田谷支店　（普 0561496）	53,060,728
世田谷信用金庫　駒沢支店（普 0548170）	477,541
みずほ銀行　駒沢支店（普 1022214）	2,596,841

（2）奨学基金積立金　（単位　円）

28 年度末累計額	29 年度積立額	積立金取崩額	合計	銀行名
303,353,070	0	0	303,353,070	みずほ銀行

（3）新規事業積立金　（単位　円）

28 年度末累計額	29 年度積立額	積立金取崩額	合計	銀行名
76,246,413	10,000,000	0	86,246,413	三菱東京 UFJ 銀行

（4）キャンパス整備助成積立金　（120,000,000 円）　（単位　円）

28 年度末累計額	29 年度積立額	積立金取崩額	合計	銀行名
30,000,000	30,000,000	0	60,000,000	三菱東京 UFJ 銀行
60,000,000	0	0	60,000,000	みずほ銀行

上記の通り報告いたします。
平成 30 年 4 月 12 日

駒澤大学教育後援会

会長　正田　賢司
副会長　大山　真護
副会長　松田　素子
副会長　田中　弥生
副会長　平島　章

平成 30 年度　教育後援会予算書

自　平成 30 年 4 月 1 日　～　至　平成 31 年 3 月 31 日

収入の部　（単位　円）

項　目	H30 予算額（A）	H29 予算額（B）	H29 決算額	差異（A-B）	摘　要
前年度繰越金	56,135,110	33,298,614	33,298,614	22,836,496	
入会金	19,150,000	19,625,000	19,150,000	△ 475,000	@5,000 円× 3,925 名（入学者数）
会費	152,505,000	156,470,000	152,505,000	△ 3,965,000	@10,000 円× 15,647 名（学生数） ※ 4 月 1 日現在学生数
会合参加費	2,300,000	2,250,000	2,317,200	50,000	夏季委員研修会・委員研修会の参加費
雑収入	500,000	150,000	606,856	350,000	銀行利息（普通預金・定期預金）・その他
合　計	230,590,110	211,793,614	207,877,670	△ 18,796,496	

支出の部　（単位　円）

	項　目	H30 予算額（A'）	H29 予算額（B'）	H29 決算額	差異（A'-B'）	摘　要
運営費	会議費	1,650,000	1,650,000	739,804	0	総会・役員会等諸経費
	消耗品費	180,000	180,000	46,868	0	事務用品・消耗品
	印刷製本費	800,000	900,000	237,030	△ 100,000	定期総会資料等印刷費
	通信費	500,000	500,000	339,285	0	各種会議等案内状送料・切手等諸経費
	旅費交通費	2,570,000	2,400,000	1,402,260	170,000	各県支部長などの総会等出張費・委員の委員会等交通費
	運営渉外費	190,000	500,000	141,600	△ 310,000	卒業委員対しての卒業アルバム等購入費
	ホームページ経費	2,300,000	3,000,000	2,919,102	△ 700,000	ホームページ更新・管理料等諸経費
	運営雑費	3,050,000	3,260,000	1,332,358	△ 210,000	応援のぼり・応援旗・撮影料等諸経費
	計	11,240,000	12,390,000	7,158,307	△ 1,150,000	
一般事業費	研修費	12,545,000	11,800,000	10,137,885	745,000	会員研修会・新年賀詞交歓会等諸経費
	教育懇談会費	13,980,000	13,780,000	11,167,267	200,000	教育懇談会 印刷費、荷物等発送費、役員出張費、昼食費、現地経費など諸経費
	各部活動費	3,350,000	3,500,000	2,055,826	△ 150,000	各部（執行・総務・厚生・文化）活動諸経費
	支部活動費	3,650,000	3,650,000	2,291,508	0	支部事務費及び運営補助費
	会報等発行費	16,594,000	15,970,000	15,186,885	624,000	会報及び卓上カレンダー作成等経費
	弔慰金	1,260,000	1,260,000	300,000	0	会員・学生・教職員弔慰金
	事業渉外費	3,500,000	5,300,000	3,990,386	△ 1,800,000	サークル応援・各種学校関連行事への参加費等経費
	事業雑費	100,000	100,000	0	0	掲示物筆耕料・学生アルバイト料
	計	54,979,000	55,360,000	45,129,757	△ 381,000	
特別事業費	学生指導費	1,300,000	1,300,000	1,096,092	0	卒業証書（学位記）ファイル購入経費
	課外活動学外指導者指導助成金	4,950,000	4,950,000	3,785,000	0	学外指導者への指導助成経費
	学生奨励費	6,600,000	6,750,000	2,400,300	△ 150,000	学生団体及び個人への祝賀金・支援金
	家計急変学生一時給付金	5,000,000	5,000,000	800,000	0	家計急変学生一時給付金
	奨学給付金	26,000,000	26,000,000	26,200,000	0	教育後援会奨学金（家計・成績・留学生）
	国際交流助成金	150,000	150,000	150,000	0	国際親善協会賛助金
	スポーツ強化助成金	8,000,000	9,000,000	8,200,000	△ 1,000,000	スポーツ推薦サークルの強化助成
	文化振興助成金	2,300,000	1,000,000	0	1,300,000	文化・芸術・音楽系サークルの強化助成
	就職・キャリア支援助成金	1,600,000	1,600,000	1,108,080	0	就職ガイドブック、その他
	食育支援事業助成金	17,000,000	8,000,000	8,251,700	9,000,000	100 円朝食助成、玉川キャンパス食育助成
	教育施設等充実助成金	1,460,000	9,000,000	7,403,324	△ 7,540,000	ごみ入れ、屋外ベンチ等の助成
	大規模自然災害被災者見舞金	1,200,000	1,200,000	60,000	0	大規模自然災害の被災者見舞金
	計	75,560,000	73,950,000	59,454,496	1,610,000	
繰入金	奨学基金積立金	0	0	0	0	奨学基金のための積立金
	新規事業積立金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	新規事業のための積立金
	キャンパス整備助成積立金	30,000,000	30,000,000	30,000,000	0	キャンパス整備助成のための積立金
	60 周年事業積立金	10,000,000			10,000,000	H31 年度に迎える 60 周年事業積立金
	計	50,000,000	40,000,000	40,000,000	10,000,000	
予備費		38,811,110	30,093,614	0	8,717,496	予算が不足した場合は、予備費を使用する
合　計		230,590,110	211,793,614	151,742,560	18,796,496	

平成 30 年度　教育後援会特別会計予算書

（1）奨学基金積立金特別会計　（単位　円）

29 年度末累計額	30 年度積立額	積立金取崩額	繰越額
303,353,070	0	0	303,353,070

（2）新規事業積立金　（単位　円）

29 年度末累計額	30 年度積立額	積立金取崩額	繰越額
86,246,413	10,000,000	0	96,246,413

（3）キャンパス整備助成積立金　（単位　円）

29 年度末累計額	30 年度積立額	積立金取崩額	繰越額
120,000,000	30,000,000	0	150,000,000

（4）60 周年事業積立金　（単位　円）

29 年度末累計額	30 年度積立額	積立金取崩額	繰越額
	10,000,000	0	10,000,000

駒澤大学教育後援会会則

第1章 総則

●名称及び所在地●

第1条 本会は、駒澤大学教育後援会と称し、本部を東京都世田谷区駒沢1丁目23番地1号（駒澤大学内）に置く。

●目的●

第2条 本会は、駒澤大学（以下「大学」という。）と家庭との緊密なる連絡を図り、その教育的効果の向上に資するとともに、併せて会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的とする。

●事業●

第3条 本会は、第2条に定める目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 懇談会、研修会、講演会等の開催に関する事業
(2) 会報及びその他刊行物の発行及び配布に関する事業
(3) 大学施設整備及び教育用設備機器の拡充援助に関する事業
(4) 奨学金及び家計急変学生一時給付金給付に関する事業
(5) 教育相談及び就職情報等に関する事業
(6) スポーツ強化助成及び文化振興助成に関する事業
(7) 福利厚生に関する事業
(8) その他、大学、会員、学生との連絡調整に関し、必要な事業

●組織●

第4条 本会は、大学に在学する全学生の父母又は保証人を会員として組織する。

第2章 役員及び委員

●役員●

第5条 本会に、次の役員を置く。

(1) 会長　1人
(2) 副会長　4人
(3) 各部部長　1人
(4) 各部副部長　2人
(5) 監査　若干人
(6) 学内幹事　若干人

●役員の選出●

第6条 役員の選出は、次のとおりとする。

(1) 会長・副会長及び監査は、会員の中から役員会並びに委員総会において推挙し、総会の議を経て決定する。会長は、副会長及び監査にその職を委嘱する。
(2) 各部部長及び副部長は、会員の中から役員会において推挙し、委員総会の議を経て決定する。会長は、各部部長及び副部長にその職を委嘱する。
(3) 学内幹事は、大学と協議の上、会長が委嘱する。

●役員の任務●

第7条 役員の任務は、次のとおりとする。

(1) 会長は、本会を代表して会務を総理し、会議の議長となる。
(2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
(3) 各部部長は、各部の業務を総括し、その部会の議長となる。
(4) 副部長は、部長を補佐し、部長事故あるときはこれに代わる。
(5) 監査は、会務及び会計を監査し、必要あるときは委員総会の招集を要求することができる。
(6) 学内幹事は、本会の事務執行に協力するものとする。

●役員の任期●

第8条 役員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

❷前項にかかわらず、次期役員が決定するまでは、その業務を執行するものとする。

●委員●

第9条 本会に委員若干人を置く。

❷委員は、会員の中から役員会が推薦し、委員総会の議を経て会長が委嘱する。

●各部委員会●

第10条 各部委員会は、必要に応じ部長がこれを招集し、業務分掌に伴う事業を執行する。

●委員の任期●

第11条 委員の任期は、その子女の最短修業年限とする。

●顧問●

第12条 本会に、名誉顧問、特別顧問及び顧問を置くことができる。

❷名誉顧問は、学長、各副学長及び各局長を推戴し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。

❸特別顧問は、顧問経験者の中から若干名を、役員会の推薦により会長が委嘱し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。本学内の別組織役員を兼任してはならない。特別顧問の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

❹顧問は、役員会の推薦により会長が委嘱し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。ただし、任期は1年とする。

第3章 機関

●機関●

第13条 本会に、次の機関を置く。

(1) 総会
(2) 委員総会
(3) 役員会
(4) 執行部会

●総会●

第14条 総会は、本会の最高決議機関であり、会長が年1回これを招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を招集することができる。

●議決●

第15条 総会の議事決定は、出席会員の過半数の同意をもってこれを決する。

●委員総会●

第16条 委員総会は、役員及び委員をもって構成し、必要に応じて会長がこれを招集する。ただし会長は、推挙された新役員候補者のオブザーバー参加を認めることができる。

❷委員総会は、総会に次ぐ議決機関であり、本会事業の予算、決算その他必要な事項を審議するとともに、

緊急により事業遂行に支障をきたすおそれのあるときは、これを議決することができる。

❸前項による場合、会長はその経過を総会において報告し、追認を受けなければならない。

●役員会●

第17条　役員会は、役員をもって構成するものとする。

❷ただし会長は、推挙された新役員候補者のオブザーバー参加を認めることができる。

❸会長は必要に応じこれを招集し、全ての会務の企画・立案し業務を執行する。

●執行部会●

第18条　会長・顧問・副会長をもって執行部会を構成するものとする。

❷ただし会長は、推挙された会長・顧問・副会長候補者及び特別顧問のオブザーバー参加を認めることができる。

❸会長は必要に応じて、これを招集することができる。

第4章　事業の運営

●業務の分担●

第19条　本会は、業務を分担するため、分掌機関として次の部を置く。

(1)総務部
(2)厚生部
(3)文化部

●事務局●

第20条　本会の事務局は、駒澤大学学生部厚生課とし、諸般の事務を掌る。

第5章　会費及び会計

●会計年度●

第21条　本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

●経費●

第22条　本会の経費は、入会金及び会費その他の収入をもって支弁する。

●会費及び入会金●

第23条　本会の会員は、入会金及び会費を負担する。

(1)入会金は、5、000円とし、入学時に納入する。
(2)会費は、年額10、000円とし、毎年4月に納入するものとする。
ただし、半期分を毎年4月及び9月に分割納入することができる。

●予算及び決算等●

第24条　会長は、総会に当事業年度の予算及び事業計画を提出してその議決を求め、かつ、前事業年度の決算及び事業報告について承認を求めなければならない。

❷会長は、予算が成立するまでの間、通常の業務を遂行するに必要な経費の金額に限り支出することができる。

●特別会計●

第25条　会長は、総会の承認を得て、特別の支出を目的とする特別会計を設けることができる。

❷会長は、特別会計の決算又は、事業年度末の現況について定期総会の承認を求めなければならない。

●監査報告●

第26条　監査は、各事業年度における業務の執行及び会計を監査した結果について、翌事業年度の定期総会において報告しなければならない。

第6章　支部の設置

●支部●

第27条　本会に支部を置くことができる。

❷支部の設立及び運営等については、細則をもって別にこれを定める。

第7章　補則

●会則の改廃●

第28条　この会則の改廃については、総会の議を経なければならない。

●雑則●

第29条　この会則に定めないものは、すべて委員総会に諮り、決定するものとする。

附則

○この会則は、平成12年5月21日から施行する。
○この会則は、平成30年5月13日から施行する。

誌面スペースの都合上、附則項目は途中を省略しています。詳細は教育後援会事務局までお問い合わせください。

駒澤大学教育後援会のホームページを更新し、スマートフォンやタブレット端末などでも一段と閲覧しやすくなりました。

駒澤大学教育後援会では、近年のスマートフォン普及に伴い、モバイルデバイス（iPhone、iPad、Android 等）閲覧に対応するホームページにリニューアルいたしました。また、GMO グローバルサインが提供する SSL サーバ証明書は、認証局運用規定（CPS）および利用規約に基づいて提供され、WEB サイトのセキュリティを強化しています。

https://www.komazawa-k.org

地方で活躍する駒大OB・OG

～特別編　東京～

駒澤大学の卒業生たちは、様々な企業や業界で活躍しています。このシリーズでは、地方で活躍している駒大OB・OGの皆さんにスポットを当ててご紹介しております。今回（第4回）は、特別編として東京都の髙山さんをご紹介いたします。

髙山　重人〔株式会社伊藤園〕

東京都出身。東京都立上野高等学校卒業。
駒澤大学文学部地理学科卒業（1993年）。
趣味は、ウォーキング、ゴルフ。

私は東京都足立区の出身で、荒川と隅田川に囲まれた自然豊かな町で生まれ育ちました。

駒澤大学では文学部地理学科に所属していました。地図を眺めて、町と町のつながりやそこで興った産業、気候風土などについて広く考えることが好きで、地理的な視点から地域文化の特色やそれを育んできた背景について研究することに興味がありました。地理学科で行われた野外巡検では、長野先生引率のもと屋久島・種子島に行ったことが思い出に残っています。屋久島では、小さな島に亜熱帯から亜寒帯気候まであり、長い年月を刻んだ巨大な屋久杉についても考察しました。気候や地形、人と自然との関わりについて多角的に研究することができました。また、卒業論文では秩父札所34か所を巡りながら、秩父の町の歴史と山岳信仰の関係を研究しました。

大学では、個性溢れる素晴らしい友人たちに恵まれ、地理学科の仲間とともに古典芸能を鑑賞する「芸能研究会」というサークルを立ち上げました。当時はまだ講師だった地理学科の小田教授が顧問を引き受けてくださいました。芸能研究会では、歌舞伎鑑賞やスポーツフェスティバルへの参加、合宿と称した旅行などを楽しんでいました。

大学時代は、授業が休講になることがわかると、レンタカーを借りて「いちご狩り」に出かけたり、神宮球場に東都大学野球の応援に行ったり、生涯忘れることのない貴重な時間を仲間とともに過ごすことができました。

私は大学卒業後、株式会社伊藤園に入社しました。伊藤園は、「お～いお茶」をはじめ、

1日分の野菜、タリーズコーヒー、健康ミネラル麦茶などの商品企画から製造、販売までを行う総合飲料メーカーです。みなさんが普段手に取っているドリンクタイプの緑茶飲料。実は、1984年に伊藤園が世界で初めて開発に成功した製品です。当時は、家庭で急須を使って飲むことが当たり前だった緑茶を、いつでもどこでもおいしく飲めるように缶入り煎茶（現在の「お～いお茶」）を開発し、無糖飲料市場を開拓してきました。

更にペットボトル入り緑茶飲料を販売し、飲料業界に缶容器からペット容器へのイノベーションを起こしました。1966年の設立以来「お客様第一主義」の経営理念のもと、長期ビジョン『世界のティーカンパニー』を目指し、挑戦を続けています。

私は入社当初、支店配属になりました。営業職として池袋周辺の小売店を担当していました。伊藤園は地元密着のルートセールスが特徴の会社で、そこでは小売店に直接商品を紹介したり、売り場に商品を並べたりする仕事をしていました。その後は、新規開拓業務の営業推進や、大手企業、鉄道会社、高速道路会社を担当する広域法人営業や、支店の運営管理も経験しました。

現在は、東京千葉拠点管理部東京南管理課で新宿区、渋谷区、港区、品川区、大田区、目黒区にある6つの支店の労務と営業の管理をしています。エリア内の営業数値管理、労務管理、地区・支店の損益計算書の管理、安全衛生や交通安全など、業務は多岐にわたっています。

私は、「和の中にも厳しさがあり、厳しさの中にも情がある」このような心情で仕事をしています。これからもお客様の視点に立った現場第一主義の会社で、お客様そして社員の声にも耳を傾けながら、日々誠実に働いていきたいと思っています。

平成30年度 後期学費等納入のお知らせ

○本年度学費等を分割納入された方は、後期学費等を期限内に納入してください。

納入期限

後期学費等納入期限　9月20日（木）

❶後期学費等振込用紙は、7月下旬に送付いたします。
　大学所定振込用紙をご利用のうえ、金融機関窓口から電信扱いで納入してください。納入は現金に限ります。
　ただし、ゆうちょ銀行からの振込みは、口座からのみとなりますので、事前にゆうちょ銀行窓口で振込方法等について確認してください。
※本人確認法により、10万円を超える現金の振込みには、金融機関窓口において運転免許証、健康保険証、パスポートなどの公的な本人確認書類が必要となります。
❷大学所定振込用紙以外で納入する場合は、依頼人名と大学所定振込用紙記載の「振込依頼人コード10桁」及び「学生氏名」を必ず記載し、振込金額を間違わないよう納入してください。
　なお、不備の場合、学生の特定及び入金確認ができないため、納入控え等のＦＡＸをお願いする場合があります。
❸振込用紙を紛失した場合は、財務部窓口で再発行します（ただし、再送付はいたしません）。
❹いったん納入された学費等は、お返しいたしません。
○納入期限までに納入できない特別な事情がある場合は、納入期限を延期して納入することができます。
　延納を願い出る場合は、すみやかに財務部窓口にて相談のうえ、納入可能日を明記した所定の「学費等延納願」を9月20日（木）の納入期限までに提出してください。保証人及び学生の署名捺印が必要となります。

問い合わせ先

財務部学費係
TEL 03-3418-9076
FAX 03-3418-9071

卒業アルバムのご案内

　卒業アルバムに寄せられた写真や言葉は、何十年もの時間を経ても色褪せずにそのときの記憶を鮮明に残します。アルバムを見返すと、当時の思い出を蘇らせてくれ、長年の時間の経過とともに、アルバムの価値はますます上がっていくでしょう。
　卒業アルバムには卒業年次生の個人写真や、ゼミ・サークル・友人との写真、入学式・学園祭・卒業式などの行事、キャンパス風景がフルカラーで掲載されています。卒業年次生の個人写真の撮影会は年数回、大学構内で実施しています。ご都合が合わない場合は個人写真の持ち込みも受け付けています。また、サークル・ゼミ・友人・有志などの写真の持ち込みもお待ちしております。
　アルバムに掲載された一枚一枚の写真には、一人ひとりの大学時代の思い出が込められています。卒業してから10年、20年と時間が経ち、ふとアルバムを見返した時に、卒業生にもご家族にも楽しんでいただけるアルバムですので、お申し込みをお待ちしています。

❶卒業アルバム代金
一冊8,000円（送料・税込）

❷申込方法
前期1回、後期1回、保証人様宛にダイレクトメールを発送する予定です。購入希望の方は同封する「振込用紙」にご記入の上、お申し込みください（詳細はダイレクトメールをご参照ください）。

❸卒業アルバムの送付について
「振込用紙」に記載された送付先へ卒業後の6月頃に発送いたします。

※写真はイメージです

問い合わせ先

学生部学生係
TEL 03-3418-9064

奨学金について　学生部厚生課

学生部では、「学内奨学金」をはじめとして、「日本学生支援機構奨学金」「地方公共団体及び民間団体奨学金」を取り扱っております。

奨学金は、大きく分けると、経済支援を目的としたものと、学業奨励を目的としたものがあります。それぞれ、出願条件や金額等が異なります。詳細は「奨学金案内２０１８」あるいはホームページでご確認ください。

「学内奨学金」には、経済支援型と学業奨励型の２種類があり、全て給付型の奨学金です。採用年度のみ給付され、同一年度内での学内奨学金の併用はできません。

「教育後援会奨学金」は学内奨学金の一つで、教育後援会のご協力により採用予定人数が昨年度から引き続き増えております。募集時期は９月ですが、７月中旬以降よりＫＯＮＥＣＯに募集要項を掲載しています。

【経済支援型】

❶教育後援会奨学金
〔家　計〕学部・大学院生対象。採用人数は75人で、年額20万円を一括給付。
〔留学生〕学部・大学院の私費留学生対象。採用人数は10人で、年額20万円を一括給付。

❷百周年記念奨学金
学部・大学院生対象。採用人数は50人で、月額２万円を毎月給付（年額24万円）。

❸同窓会教育研究活動奨学金
〔日本人〕教育後援会奨学金（家計）または、百周年記念奨学金に出願し、不採用になった学部・大学院生対象。採用人数は、学部生が１１５人以内で、年額10万円を一括給付。大学院生は10人以内で、年額15万円を一括給付。
〔留学生〕教育後援会奨学金（留学生）または、百周年記念奨学金に出願し、不採用になった学部・大学院の私費留学生対象。採用人数は20人で、年額10万円を一括給付。

❹駒澤大学教育ローン・法科大学院提携ローン利子補給奨学金
大学提携金融機関（みずほ銀行、三菱ＵＦＪ銀行、※法科大学院は第一勧業信用組合）から融資を受けて学費等を納入した学生を対象とし、初年度分の利子相当額（利率７％上限）を奨学金として年度末に一括給付。採用人数は不定（※全ての奨学金と併用可）。※２０１９年度採用をもって募集を停止する予定です。

【学業奨励型】

❶駒澤会奨学金
学部２・３・４年生の成績優秀者対象。
採用人数は20人で年額20万円を一括給付。

❷教育後援会奨学金（成績）
学部２・３・４年生の成績優秀者対象。
採用人数は70人で年額20万円を一括給付。

❸新人の英知（入試特待生）奨学金〔一般入学試験願書出願時に申込〕
申込をした学部・学科に必ず入学することを条件とし（学部・学科専願）、出願者の中から成績優秀者64人を採用。授業料相当額を前期・後期に分けて給付。成績により継続可能。

❹全学部統一日程入学試験奨学金〔全学部統一日程試験願書出願と同時エントリー〕
極めて優秀な成績で合格した上位２００人の方を対象に採用。
前期・後期で総額30万円を分けて給付。成績により継続可能。

❺法科大学院には次のような奨学金（大学指名制）があります。
駒澤大学法科大学院特別奨学金［適性試験］
駒澤大学法科大学院特別奨学金［学内進学者］
駒澤大学法科大学院新入生奨学金
駒澤大学法科大学院奨学金
※詳細は法科大学院ホームページをご参照ください。

地方公共団体・民間団体奨学金

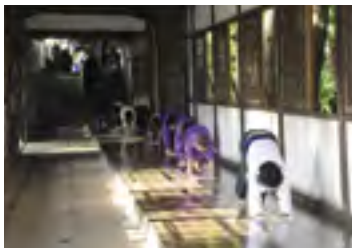
大学に募集依頼のある奨学団体を奨学金掲示板及び大学ホームページで随時紹介しております。地方公共団体や民間団体が運営する奨学金の中には、大学に募集依頼が来ない奨学金も多数あります。インターネットで検索、自治体や民間団体へ問合せをしていただき、ご自身で要項を確認した上で締め切りに十分余裕を持ち出願してください。

奨学金の出願を希望する場合には、それぞれの奨学金の特徴を理解し、ニーズにあったものを出願してください。また、採用されてもその後の手続きを怠った場合には、振込保留や、採用取消となる場合があります。奨学生としての自覚を持って行動するようご指導ください。
学生の皆さんには、各種奨学金を活用して充実した学生生活を過ごしていただきたいと思います。
奨学金に関して質問等がある場合は、学生部③番窓口までお気軽にいらしてください。

一泊参禅研修会

参加募集

一泊参禅研修会（会員研修会）は、大本山『永平寺』と『總持寺』において、隔年で毎年開催しております。本年度は、大本山『總持寺』（神奈川）において、下記の日程により開催いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。



記

日　　時：平成30年10月20日（土）午後３時～21日（日）午前９時
場　　所：大本山總持寺
　　横浜市鶴見区鶴見２－１－１　TEL：045－581－6021
　　京浜東北線「鶴見駅」下車
集合場所：大本山總持寺総受付
受付時間：10月20日（土）午後１時30分～午後２時30分
解散時間：10月21日（日）午前９時予定
参 加 費：8,000円
募集人員：150名（先着順。現役在学生の保護者のみ対象）
申込方法：平成30年9月7日（金）までに参加申込書（46ページ）に必要事項をご記入の上、封書にてご投函ください（募集人員に達しましたら、締め切らせていただきます）。
申 込 先：〒154－8525
　　東京都世田谷区駒沢1－23－1
　　駒澤大学教育後援会事務局（駒澤大学学生部内）
　　TEL：03－3418－9060

※ご参加の可否につきましては、お申し込みされた方に９月下旬に文書にてお知らせいたします。
また、同時にスケジュールの詳細や参加費のお支払い方法などのご案内もいたします。

一泊参禅研修会で新たな自分を発見してみませんか

教育後援会厚生部部長
吉野　正人

教育後援会では、隔年で大本山永平寺、大本山總持寺への一泊参禅研修会を実施しており、本年は大本山總持寺（神奈川県横浜市鶴見区）で実施いたします。

共に曹洞宗の大本山であり、駒澤大学とも縁の深い修行道場です。日常とかけ離れた厳かな空気の中で貴重な参禅体験をしていただきます。

「何でわざわざ参加費を支払って辛い参禅をしなければならないのか？」と疑問をお持ちになる方もいらっしゃると思いますが、それは参禅を終了し、お寺を出た瞬間に答えがあります。

全国の会員の皆様もこの機会にぜひ非日常を体験し、新たな自分を発見してみませんか？

それは、皆様の今後の人生における大きな宝物となることでしょう。

一人でも多くの会員の皆様にお会いできることを楽しみにしております。

第46回会員研修会「一泊参禅研修会」参加申込書

平成 30 年 10 月 20 日(土)～ 21 日(日)の第 46 回会員研修会
「一泊参禅研修会」への参加を申し込みます。

平成 30 年　　月　　日

<table>
<tr><td rowspan="6">参加者</td><td>ふりがな</td><td colspan="3"></td><td>性別</td><td>男・女</td><td>年齢</td><td>歳</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="3" rowspan="2"></td><td>生年月日</td><td colspan="3">大正
昭和　　年　月　日
平成</td></tr>
<tr><td rowspan="2">住　所</td><td rowspan="2">〒　　－</td><td>TEL</td><td colspan="3">－　　－</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="3"></td><td>性別</td><td>男・女</td><td>年齢</td><td>歳</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="3" rowspan="2"></td><td>生年月日</td><td colspan="3">大正
昭和　　年　月　日
平成</td></tr>
<tr><td rowspan="2">住　所</td><td rowspan="2">〒　　－</td><td>TEL</td><td colspan="3">－　　－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学生情報</td><td>学部・
学科・年</td><td colspan="7">学部　　学科　　年</td></tr>
<tr><td>学生番号</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">学生番号は宛名シールの
6桁の番号です</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td colspan="2">備　考　欄</td><td colspan="8"></td></tr>
</table>

ご提供いただいた個人情報は、一泊参禅研修会のご案内送付など会員研修会に関する業務（旅行保険含む）目的にのみ利用いたします（申込書に空欄がある場合は旅行保険補償対象外となります)。また、「学生情報」は事務処理に必要な情報です。

キリトリセン

アンケートにご協力ください

抽選で駒澤大学関連グッズを10名の方にプレゼントいたします！

駒澤大学教育後援会「会報」第171号はいかがでしたでしょうか。
今後の誌面編集の参考に、下記アンケートにお答えください。お答えいただいたシートは、郵送で駒澤大学教育後援会事務局までお送りください（9月15日必着）。皆様の率直なご意見、ご要望をお待ちしています。

Q 1．おもしろかった記事の番号に○をつけてください（いくつでも）。

1）表紙について
2）巻頭挨拶　長谷部 八朗学長
3）会長就任のご挨拶　平島 章会長
4）特集①　サークル紹介　狂言研究会／吹奏楽部
5）特別企画　吹奏楽部コンサート
6）学内イベントピックアップ　スプリングフェスティバルに参加して
7）新入生スケッチブック
8）特集②　大学院紹介　人文科学研究科歴史学専攻
9）駒澤会・同窓会からのお知らせ
10）特集③　気になる就職活動
11）教育後援会だより
12）特集④　定期総会報告
13）地方で活躍する駒大OB・OG（特別編～東京～）
14）大学だより
15）一泊参禅研修会へのお誘い
16）編集後記

Q 2．学部の教育内容や学生生活の状況、紹介してほしい学部・学科、ゼミなど、特集で取り上げてほしいテーマをお書きください。

Q 3．駒澤大学教育後援会「会報」に関するご感想、またお気づきの点がございましたらお書きください。

ご協力まことにありがとうございました。プレゼントを希望される方は下記に御住所、御氏名をご記入ください。なお、ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用させていただきます。お預かりした個人情報は駒澤大学教育後援会事務局が責任をもって管理します。

御住所）　〒

御氏名）

アンケート送付先）
〒154－8525
東京都世田谷区駒沢1－23－1　駒澤大学教育後援会事務局　宛
TEL 03－3418－9060　FAX 03－3418－8491

キリトリセン

オータムフェスティバル 2018
11月3日(土)・4日(日)開催!!

駒大に来て! 見て! 感じる2日間。
たくさんの屋台や各種展示・発表があります。
ワクワクドキドキ体験してみませんか?
皆様のお越しをお待ちしております。

「父母寄稿欄」への投稿をお待ちしております

原稿用紙1枚程度(400字程度)
※ふるさとだより、学生に関すること、会報に対する意見などをお寄せください。
※原稿には、タイトル・氏名・お子様の学部学科学年等をお書き添えください。顔写真なども一緒にいただけると幸いです。
なお、原稿はお返しいたしません。

《送り先》
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教育後援会事務局　宛
(メールでも受け付けております。)
k-koen@komazawa-u.ac.jp

編集後記

息子が駒澤大学にお世話になってこの4月で4年目になりました。そして同じく私も文化部4年生になりました。この間クラブ活動の取材や会報の編集作業等にかかわり、今まで経験してこなかった様々な経験をさせていただきました。

駒大生の皆様と取材等を通して交流し自分の息子との比較に嘆いたり、また同じ父母の委員の方々と親交を深め、良き交友関係を築くことができたのも偏にこの文化部での活動があったからだと思います。

当初は、不安であまり乗り気ではなかった教育後援会での活動もあと1年の活動期間となり、今では少々寂しい気持ちを感じている自分に驚いています。

残り1年、ご父母の方々に少しでもより良い会報をお届けできるように精一杯取り組んでいこうと思います。

(S・K)

◆

教育後援会には「自学(ジ・ガ・ク)」の三文字を基に貴重な場をいただけたことに感謝しています。

親子二代にわたり当大学でお世話になり、親として何か恩返しの機会があればと思い活動に参加しました。いざ始めてみると、日程は年度始めにほぼ年間予定が組まれ、仕事や家庭の都合に合わせ、自分らしく(ジ)活動できることが分かり安心しました。

縁あって文化部所属となり、主な活動は年3回の保護者向け広報誌の作成や校正などで、取材では多くの学生(ガ)と接する機会も多く、その真っすぐ目標に向かう姿や言葉に感銘を受けることが他には代えがたい経験です。

ボランティア活動という前向きで心地よい空間(ク)を通して、自然に学生や後援会員へ役立ちたい気持ちやそれらの影響で親である自身が「自学の心」まで育まれています。同時に卒業後も後援会員の方々と末永く友達であることも財産です。親として子ども共々学生期間を楽しめる機会に心より感謝します。

(M・K)

会報171号　平成30年7月20日発行
編集兼発行　駒澤大学教育後援会
〒154-8525　東京都世田谷区駒沢1-23-1　駒澤大学学生部内　駒澤大学教育後援会事務局
電話　03-3418-9060　FAX　03-3418-8491

－応援します　輝く　今を－

●お問い合わせ先●

日本学生支援機構（JASSO）奨学金について
学生部内
03-3418-9557

奨学金の相談について
学生部厚生課厚生２係
03-3418-9058

学業成績等の相談について
教務部教務１係
03-3418-9118

留学について
国際センター
03-3702-9732

学費について
財務部学費係
03-3418-9076

図書館について
図書館情報サービス係
03-3418-9165

保証人住所変更について
教務部学籍係
03-3418-9121

就職関係について
キャリアセンター
03-3418-9092

駒澤大学教育後援会

駒澤大学　https://www.komazawa-u.ac.jp/
駒澤大学教育後援会　https://www.komazawa-k.org/